

JSA PIMS2010

管理者マニュアル

— 3. 運用管理 —

R.2 2014 年 8 月

公益社団法人 日本麻酔科学会



改版履歴

版数	発行日	変更理由
R. 0	2010 年 12 月	
R. 1	2011 年 12 月	Ver4.0.2 からの新 OS 対応
R. 2	2014 年 8 月	Windows 8, 2012 Server 対応

目次

1 はじめに	4
1.1 管理者マニュアルの構成	4
1.2 本書の対象者	4
1.3 免責事項	4
1.4 表記規則	4
2 データのバックアップをするには【重要】	5
2.1 Windows 8 , 7 , Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合	5
2.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合	12
3 データベースのメンテナンス操作【重要】	17
4 データベースのリストア方法	21
4.1 Windows 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合	21
4.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合	30
5 学会提出用ファイルを作成するには	38
5.1 学会提出用ファイルの作成方法	38
5.2 麻酔台帳の未確定データを確定するには	45
5.3 学会への情報提供停止の請求があったことを記録するには	48
5.4 麻酔台帳を削除するには	49
6 システム利用ユーザを登録するには	50
6.1 ユーザ登録と利用権限の設定	50
6.2 その他の利用権限の設定（システム管理者・全データ閲覧者など）	52
6.3 ロールへのシステム機能の設定	54
6.4 システム機能とロールの初期設定状態	56

7 パスワードを忘れてしまったとの問合せがあったら	57
8 施設独自項目機能の設定方法	58
8.1 施設独自項目の設定	58
8.2 施設独自項目の台帳登録	60
9 他システム起動機能の設定方法	60
9.1 他システム起動の設定	60
9.1.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合	61
9.1.2 患者 ID を他システムに引き渡す場合	64
9.2 他システム起動方法	66
9.2.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合	66
9.2.1 患者 ID を他システムに引き渡す場合	67
10 手術台帳/麻酔台帳の術前合併症の PT 登録値の設定方法	67
11 手術台帳/麻酔台帳の重複登録の可能性のあるデータのチェック方法	69
12 マスタ情報の管理について	70
12.1 マスタ情報一覧	70
12.2 マスタ情報の管理（共通操作）	72
13 患者情報の管理について	76

1 はじめに

本書は、JSA PIMS2010（以下本システムといいます）の管理者向けマニュアルのうち、インストール方法を説明するものです。

1.1 管理者マニュアルの構成

管理者マニュアルは、以下の5編で構成されています。必要に応じた編をご参照ください。

- ・本編
- ・インストール編
- ・運用管理編（本書）
- ・データ連携編
- ・CSVによるデータ登録編

1.2 本書の対象者




本書は本システムの管理者を読者の対象としています。

本システムの管理者は、システムを適切にご使用いただくために、本書に目を通した上で、システムをご使用ください。

1.3 免責事項

システムの不適切な使用に伴う患者情報等の個人情報の漏洩については、本学会は責任を負いません。

1.4 表記規則

規則	意味
「手術管理」 「手術室予約」	メニューの名称を表します。メニューの大項目と小項目の間は、縦線で区切って表します。
[]	大カッコ内は、画面やダイアログボックスに表示される文字、またはキーボードのキーを表します。
< >	山カッコ内は、ユーザが入力する内容を表します。
→	操作したあとの結果を表します。
 注意	ご使用となるうえでの注意事項を表します。
 参照	ほかのマニュアルやヘルプの参照先を表します。
 ヒント	知っておくと便利な情報を表します。

2 データのバックアップをするには【重要】

ここでは、データベースのデータのバックアップを取得する手順を説明します。



注意 データベースのデータのバックアップは、定期的に必ず取得してください。

万が一 PC の紛失・故障などの事故が発生した場合に、バックアップを取得していないと、データを全て失う危険があります。

また、事故が起きた場合、直前に取得したバックアップのデータ迄しか復旧ができませんので、頻繁にバックアップを取得することを推奨します。

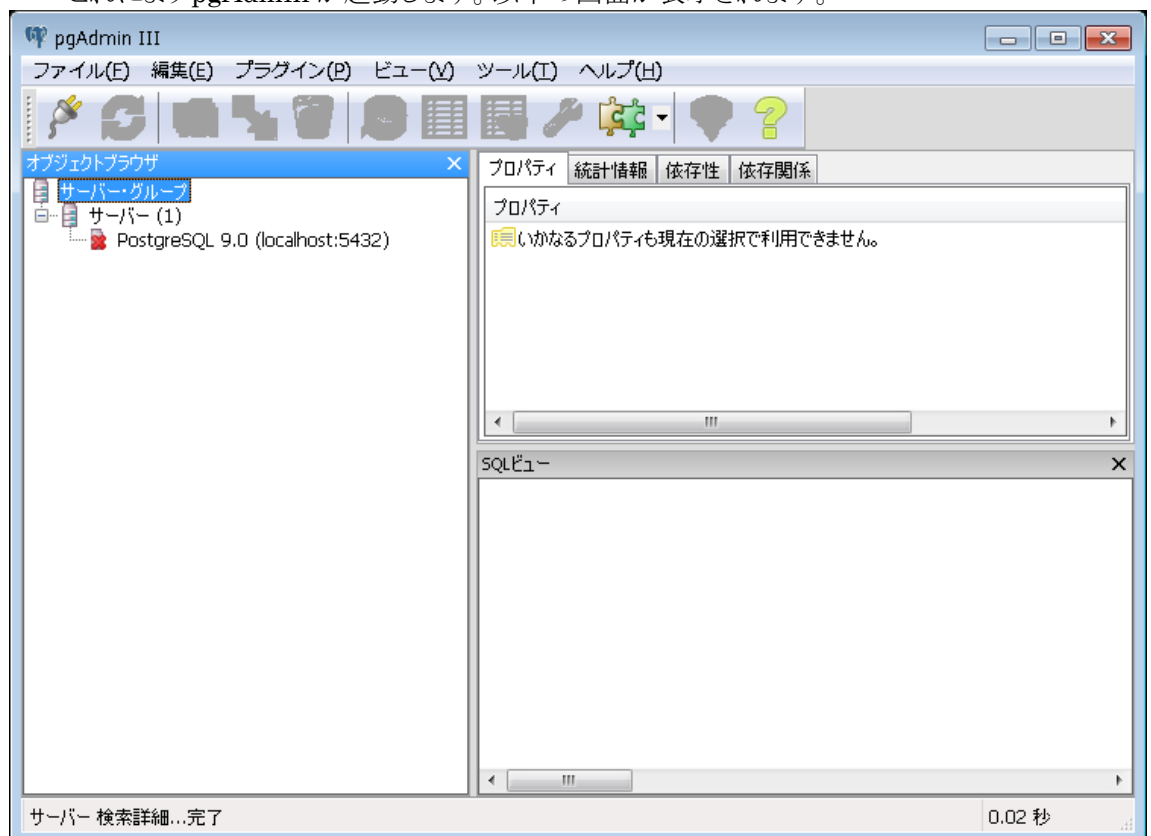
2.1 Windows 8 , 7 , Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合

ここでは、PostgreSQL に附属のツール pgAdmin を使用したデータベースのバックアップ方法を説明します。

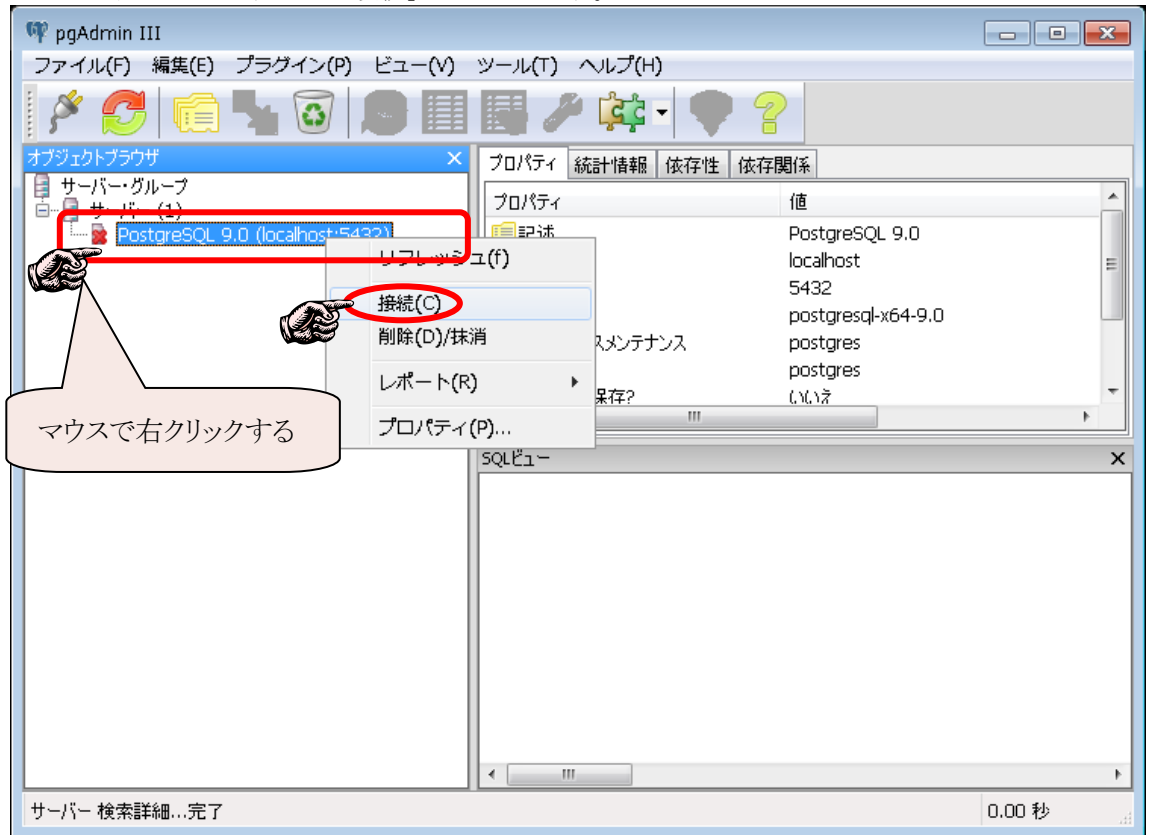
2.1.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 9.0」 | 「pgAdminIII」

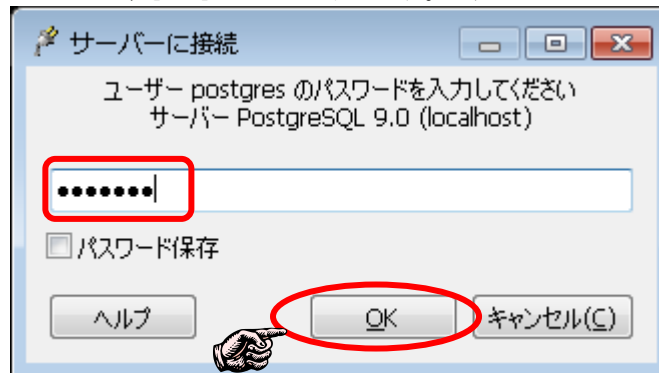
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



2.1.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

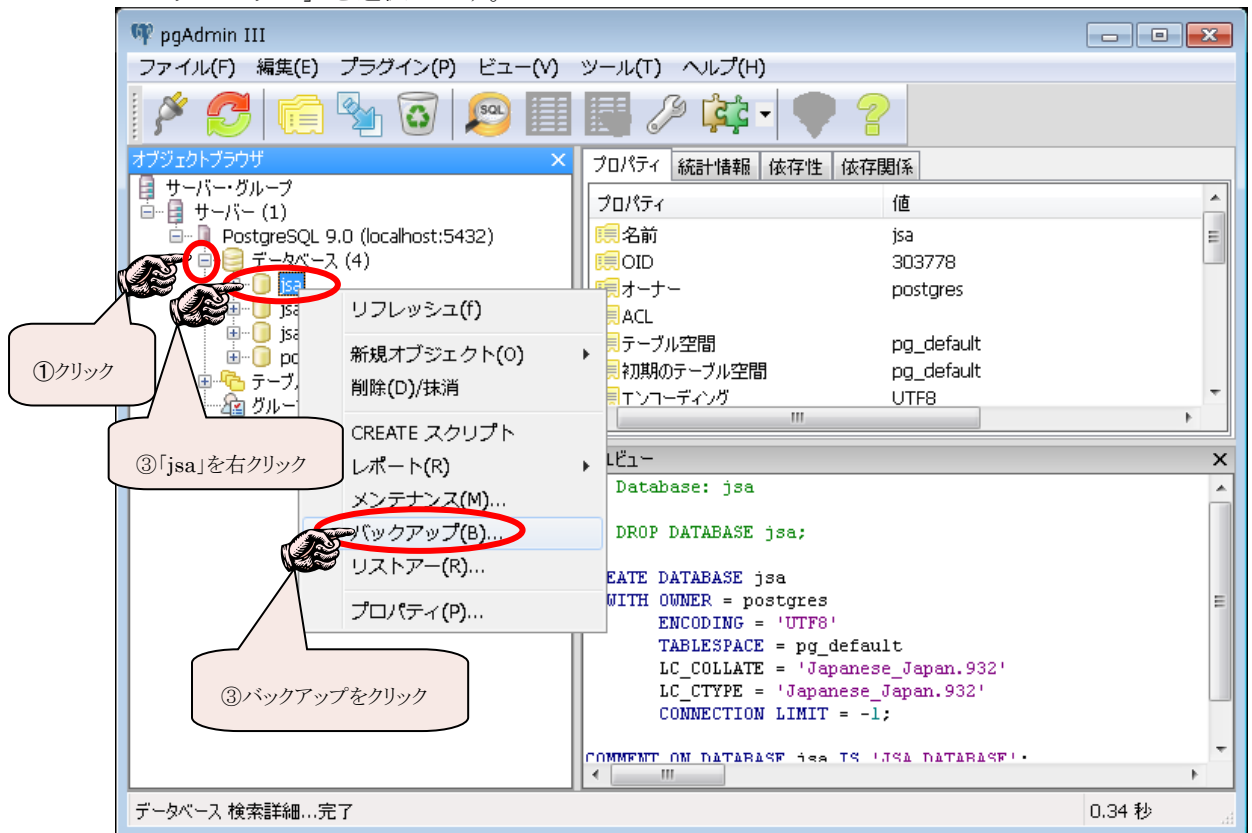


2.1.1(3) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

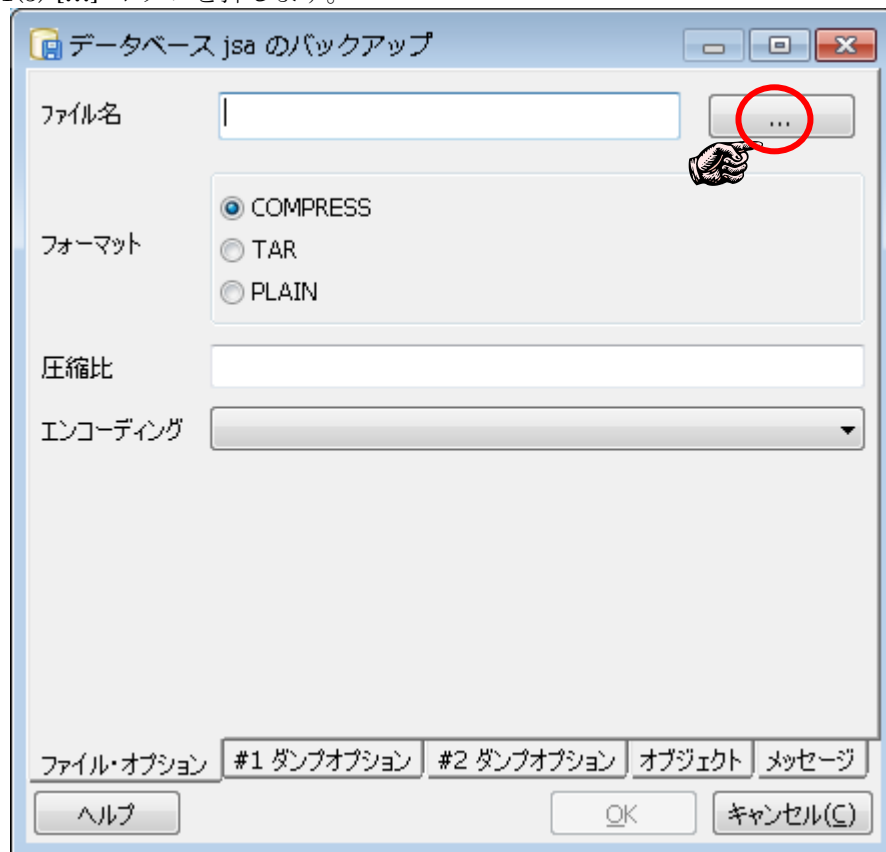


2.1.1(4) 「PostgreSQL Database Server ...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。

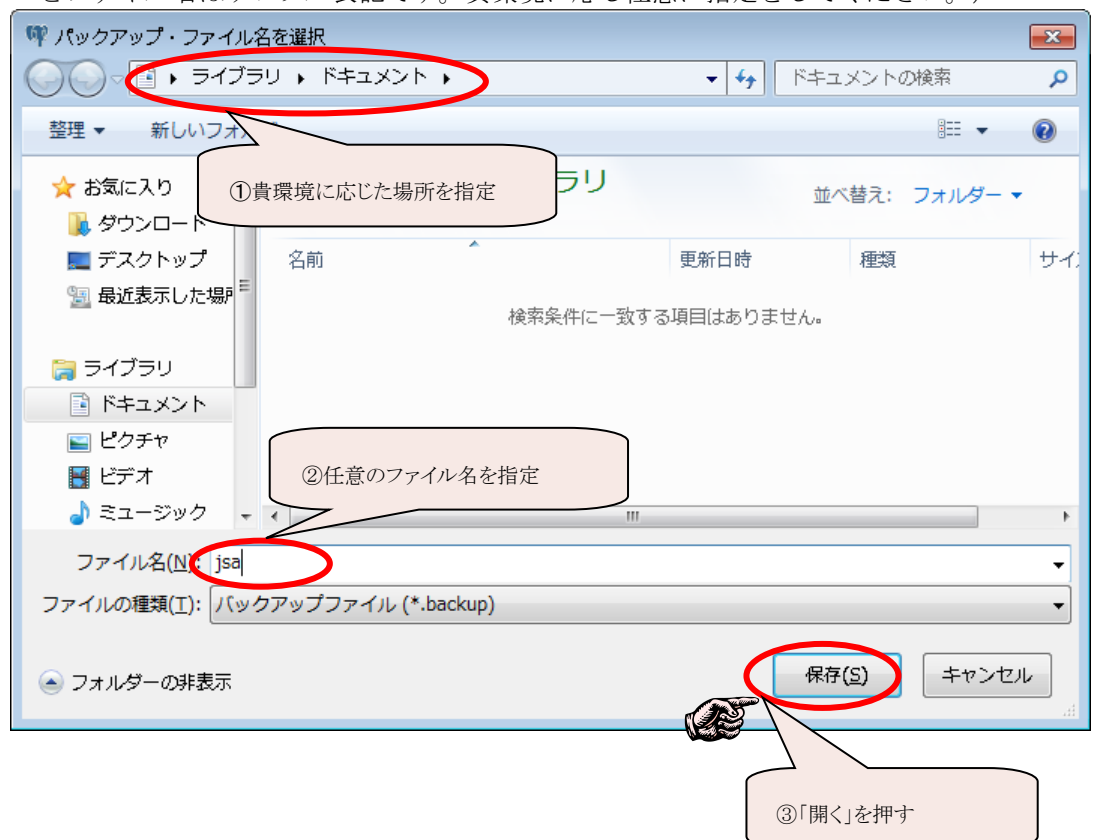
その後、「jsa」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「バックアップ」を選択します。



2.1.1(5) [...] ボタンを押します。



2.1.1(6) バックアップ先のフォルダ名とファイル名を指定します。(※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。)





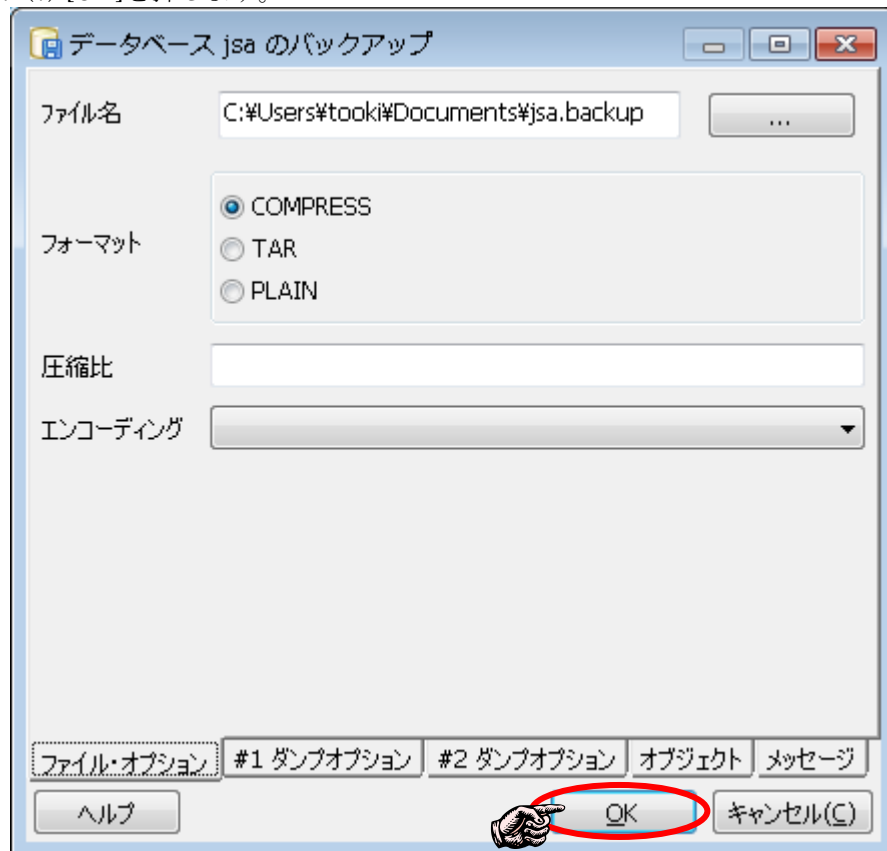
注意 バックアップ先に関して

データベースデータのバックアップ先は、

- ・ 外付けハードディスク装置などのバックアップ用メディア
- ・ 別の PC のハードディスク
- ・ NAS

など、本システムのデータベースがインストールされている PC とは別の場所
に取得してください。

2.1.1(7) [OK]を押します。

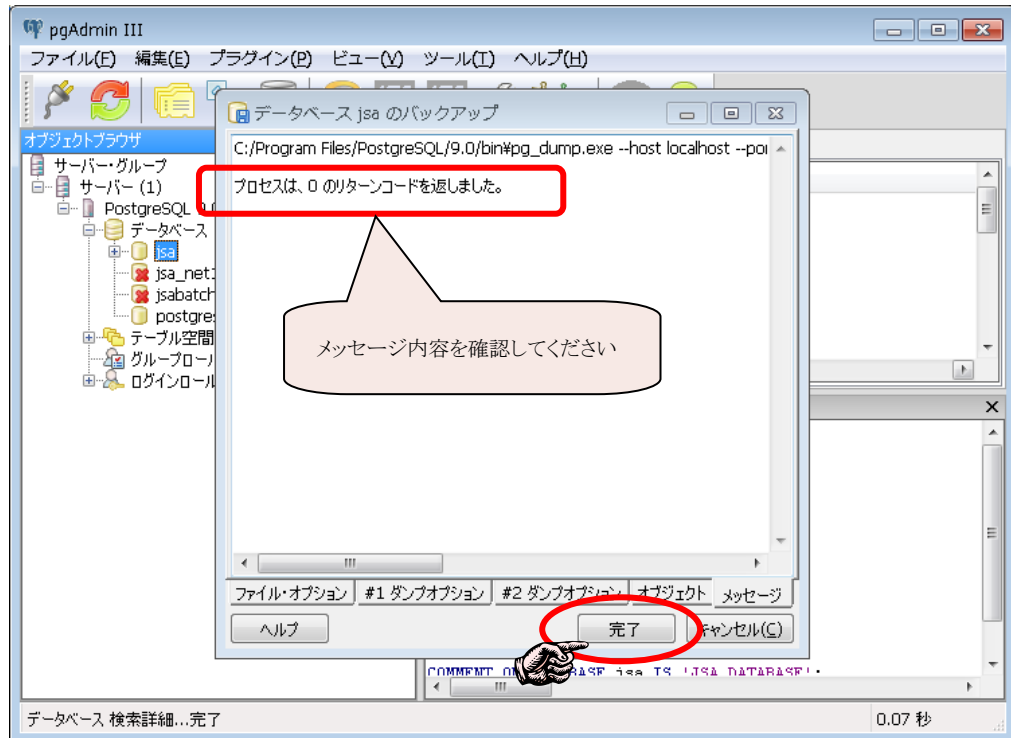


2.1.1(8) バックアップを開始します。時間は数分間掛かります（データ量に応じて要する時間が変わります）。

画面の最後尾に

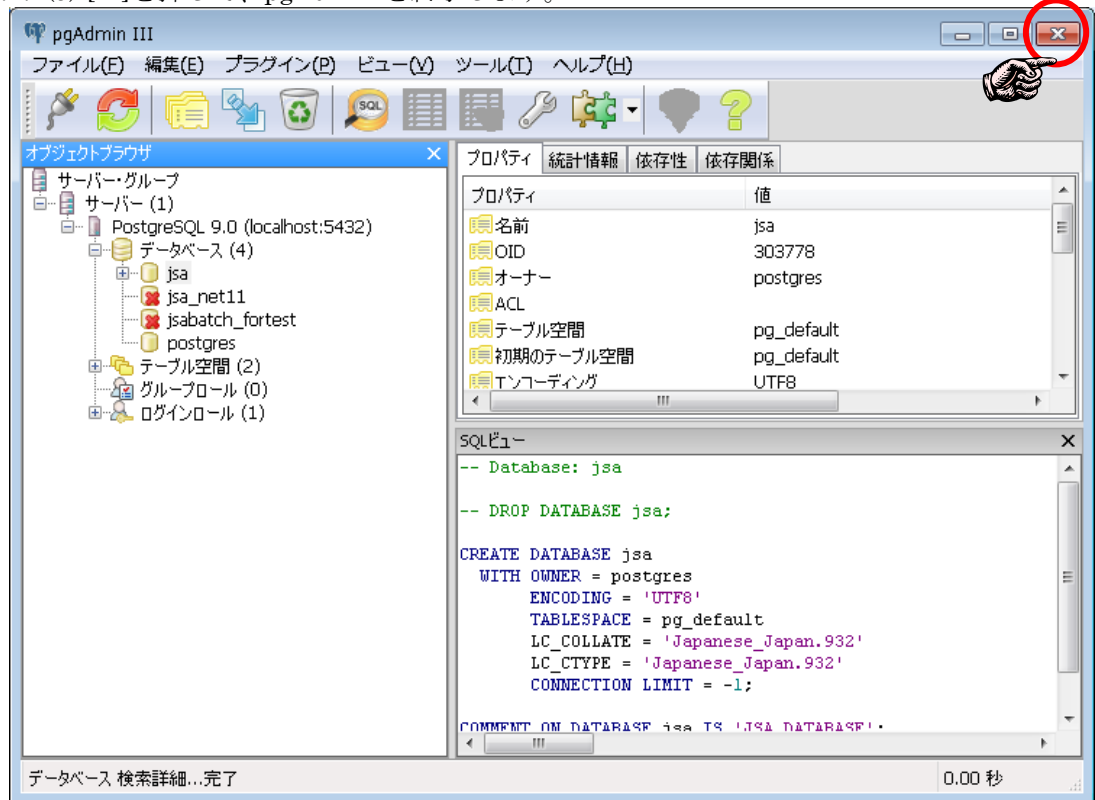
「プロセスは、**0** のリターンコードを返しました。」

と表示されれば、バックアップは正常に終了です。それ以外のメッセージが表示されている場合には、バックアップが正常に取得できていませんので、サポートまで問合せをしてください。



「完了」を押し、画面を閉じます。

2.1.1(9) [×]を押して、pgAdmin を終了します。



以上でデータベースのデータのバックアップは完了です。

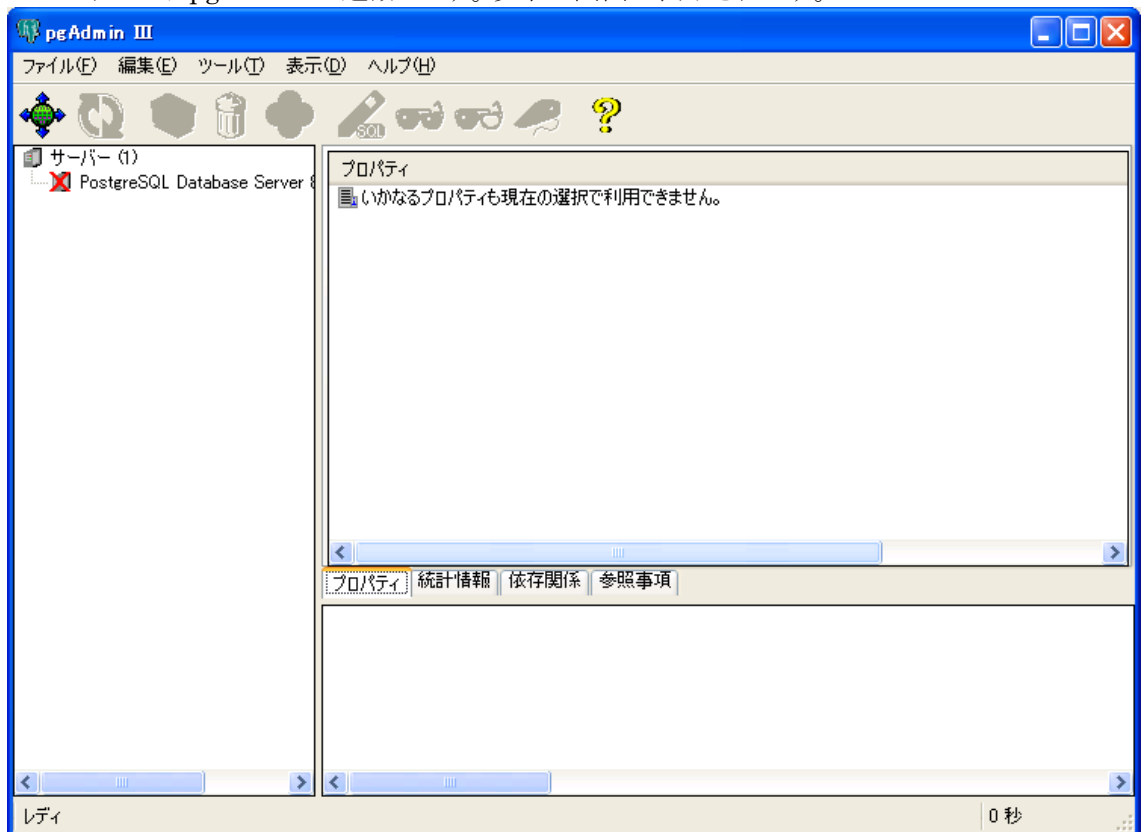
2.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合

ここでは、PostgreSQL に附属のツール pgAdmin を使用したデータベースのバックアップ方法を説明します。

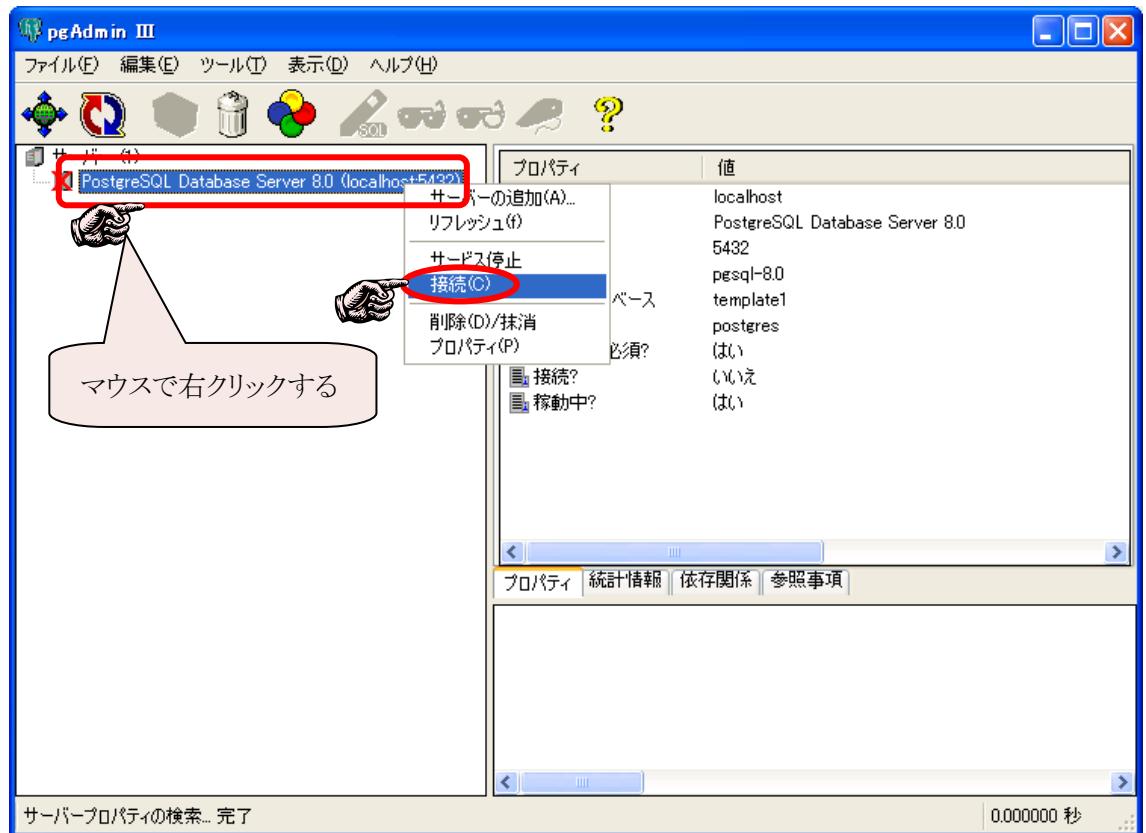
2.2.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 8.0」 | 「pgAdminIII」

→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



2.2.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

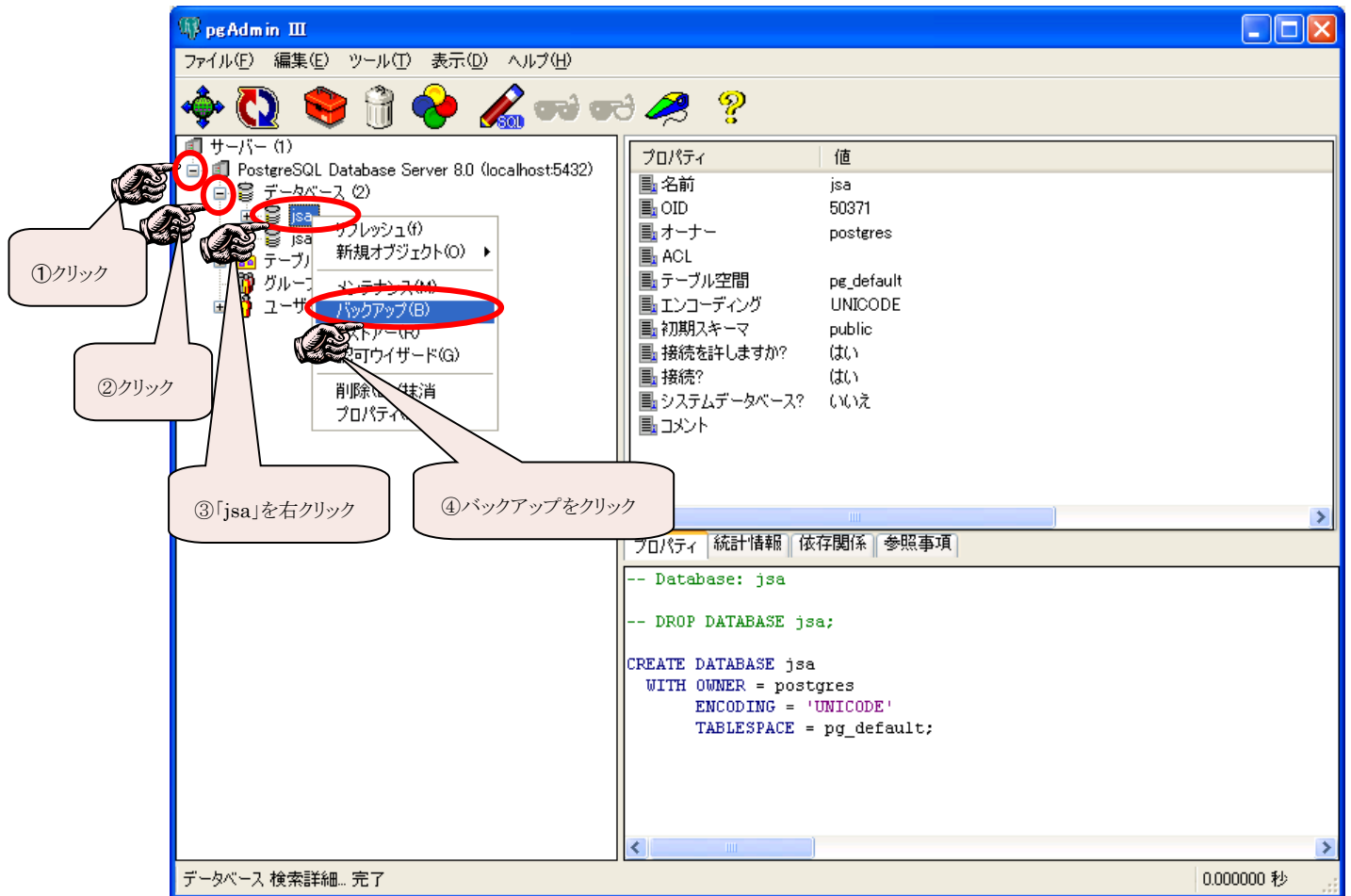


2.2.1(3) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

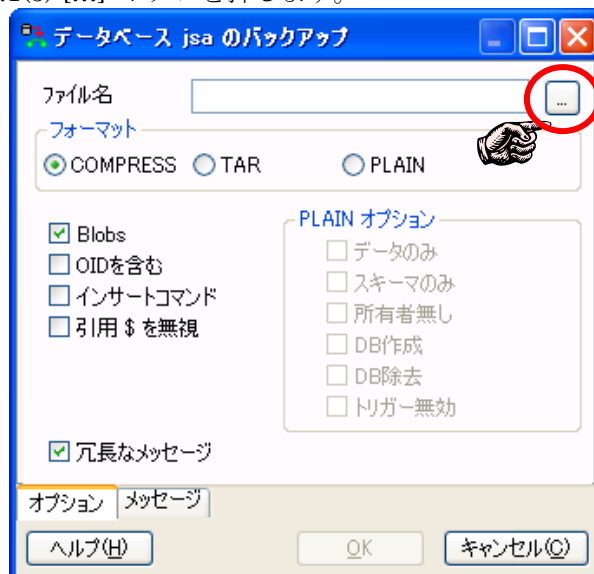


2.2.1(4) 「PostgreSQL Database Server ...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。

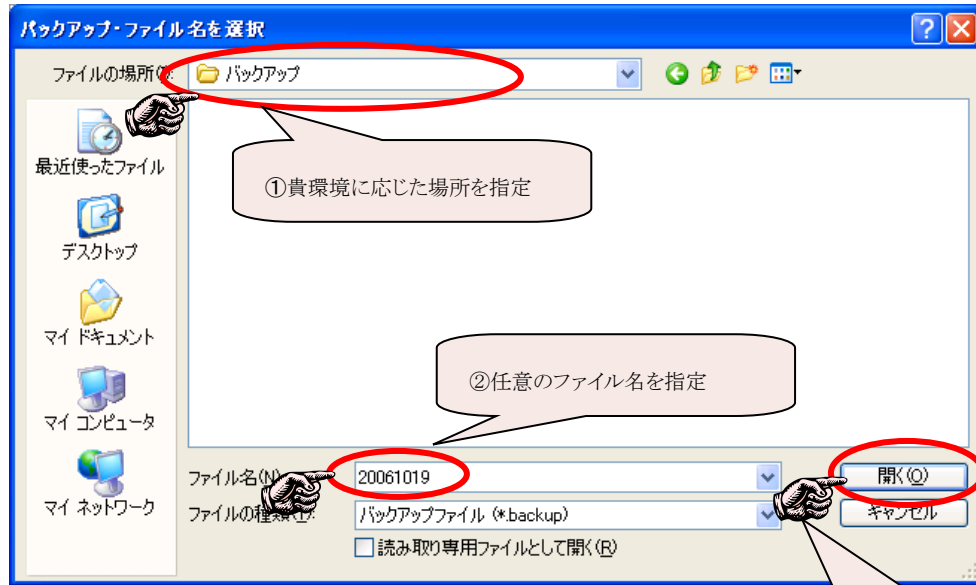
その後、「jsa」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「バックアップ」を選択します。



2.2.1(5) [...] ボタンを押します。



2.2.1(6) バックアップ先のフォルダ名とファイル名を指定します。（※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。）



注意 バックアップ先に関して

データベースデータのバックアップ先は、

- ・ 外付けハードディスク装置などのバックアップ用メディア
- ・ 別の PC のハードディスク
- ・ NAS

など、本システムのデータベースがインストールされている PC とは別の場所に取得してください。

2.2.1(7) [OK]を押します。



2.2.1(8) バックアップを開始します。時間は数分間掛かります（データ量に応じて要する時間が変わります）。

画面の最後尾に

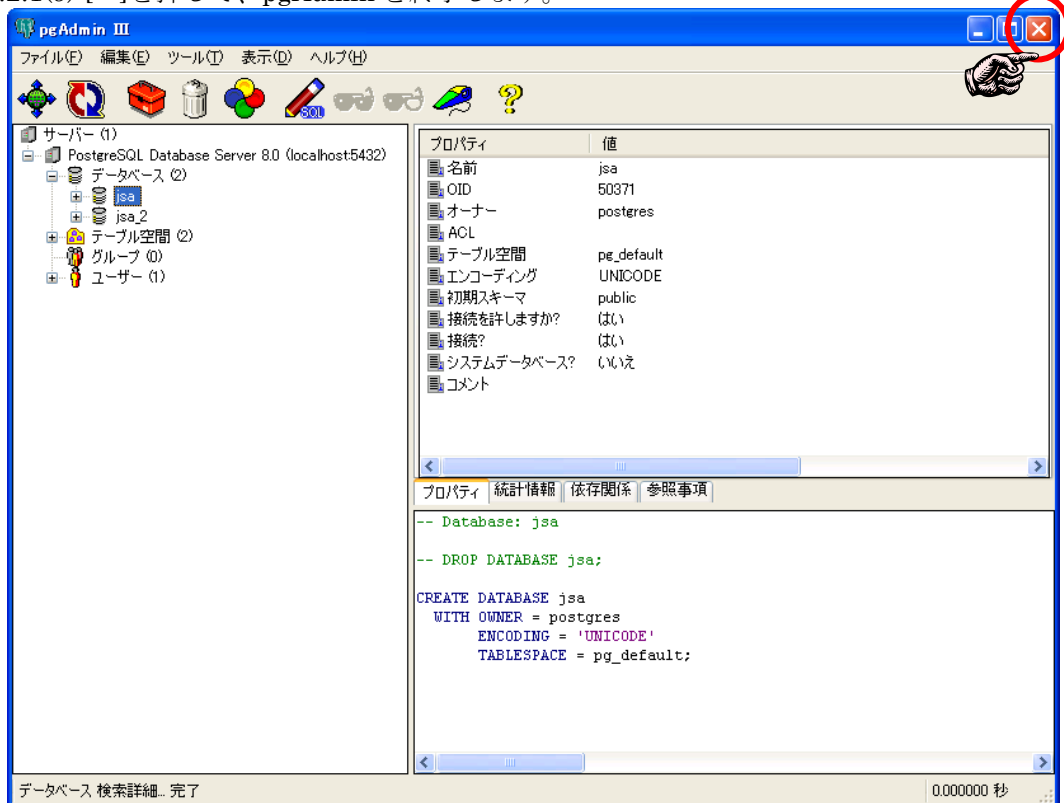
「プロセスは、**0** のリターンコードを返しました。」

と表示されれば、バックアップは正常に終了です。それ以外のメッセージが表示されている場合には、バックアップが正常に取得できていませんので、サポートまで問合せをしてください。



「完了」を押し、画面を閉じます。

2.2.1(9) [×]を押して、pgAdmin を終了します。



以上でデータベースのデータのバックアップは完了です。

3 データベースのメンテナンス操作【重要】

本操作は、JSA PIMS を下記 OS にインストールし使用している場合に必要となります。
Windows2000, XP, 2003 Server, XP Mode

※JSA PIMS を下記 OS にインストールし使用している場合は、本章の操作は不要です。
Windows8, Windows7, Vista, 2012 Server, 2008 Server

本システムのデータベースソフトである PostgreSQL は、ソフト特有の機構により、定期的にメンテナンス操作を行う必要があります。



データベースのメンテナンスは、定期的に行ってください。
この操作は、週に1～2回程度、行うことを推奨いたします。

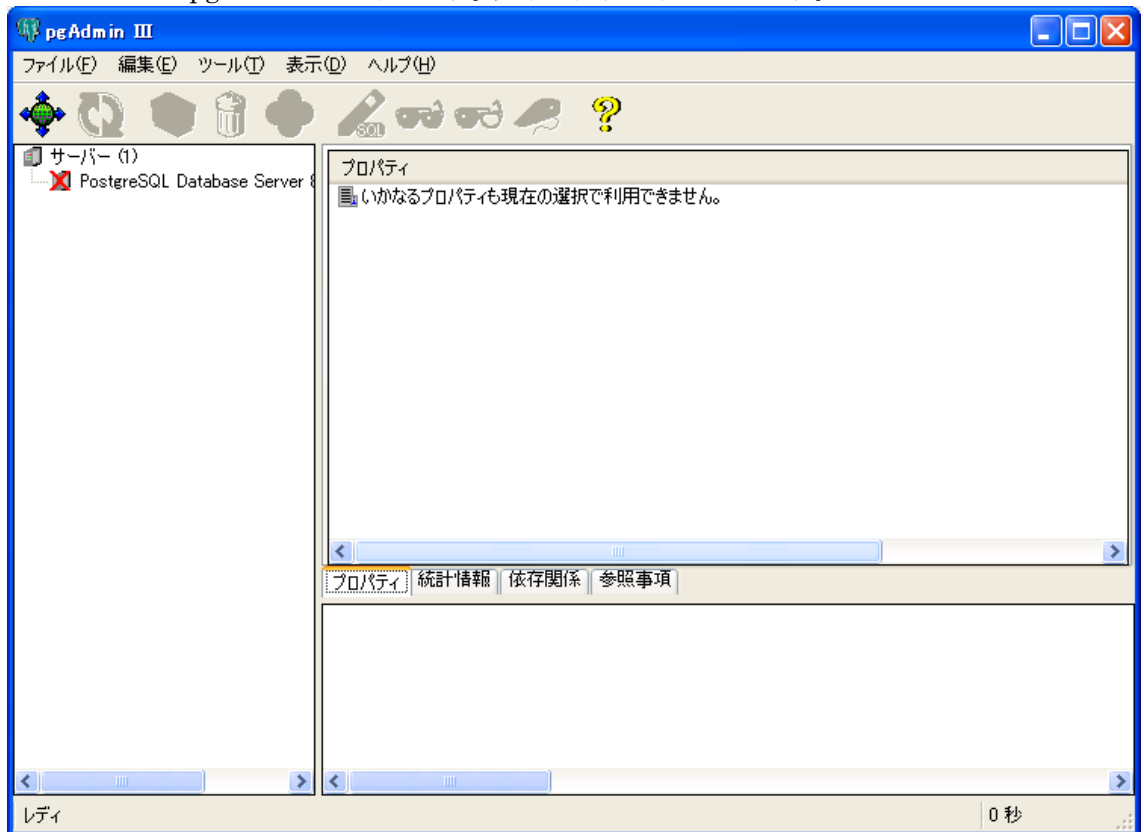
この操作を行わない場合、システムを使用してデータが蓄積していくに連れ、データベースの処理速度がだんだんと遅くなっていきます。
この操作を行うことで、データベースの処理速度が改善されます。

以下に、メンテナンスの手順を説明します。

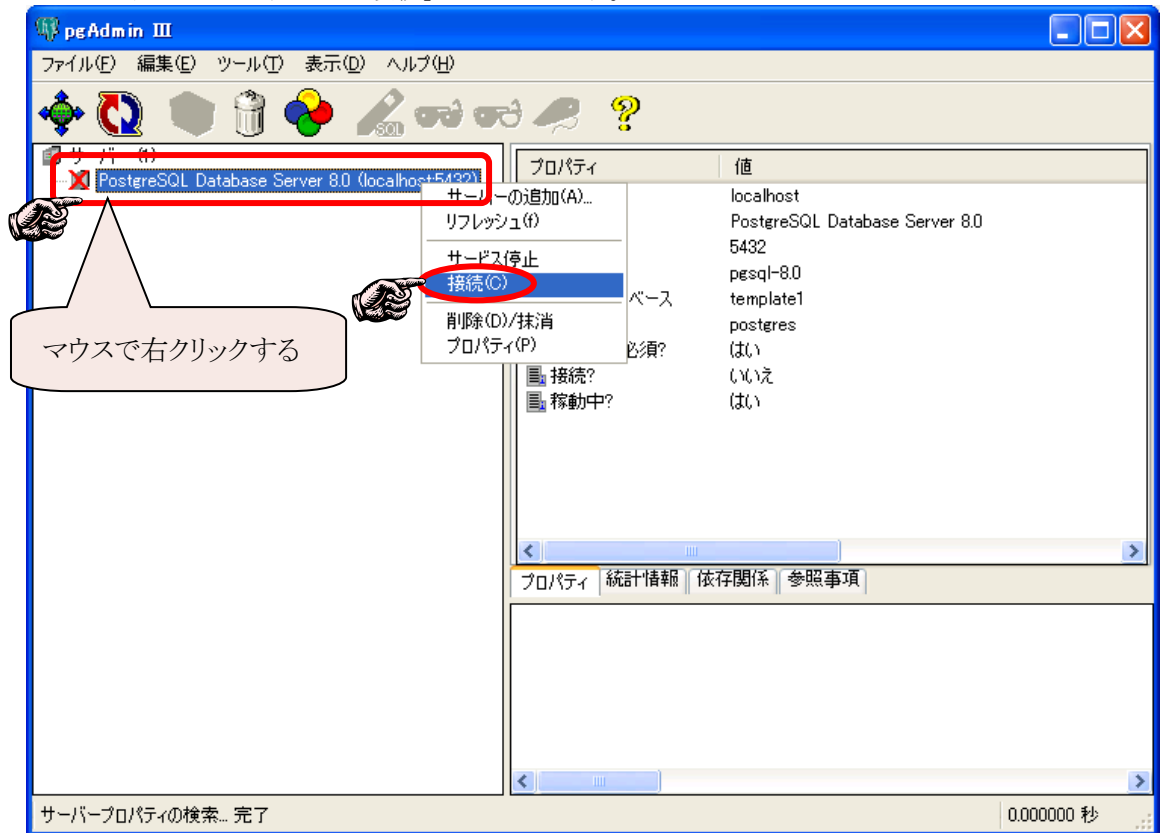
3.1.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 8.0」 | 「pgAdminIII」

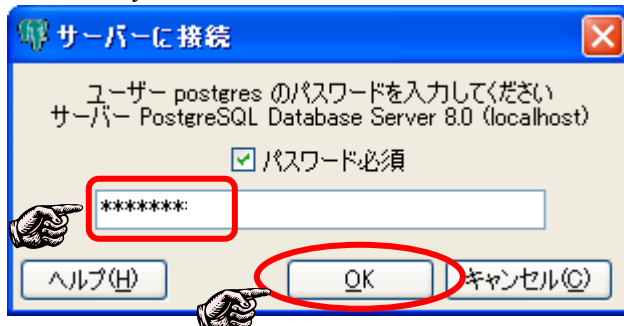
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



3.1.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

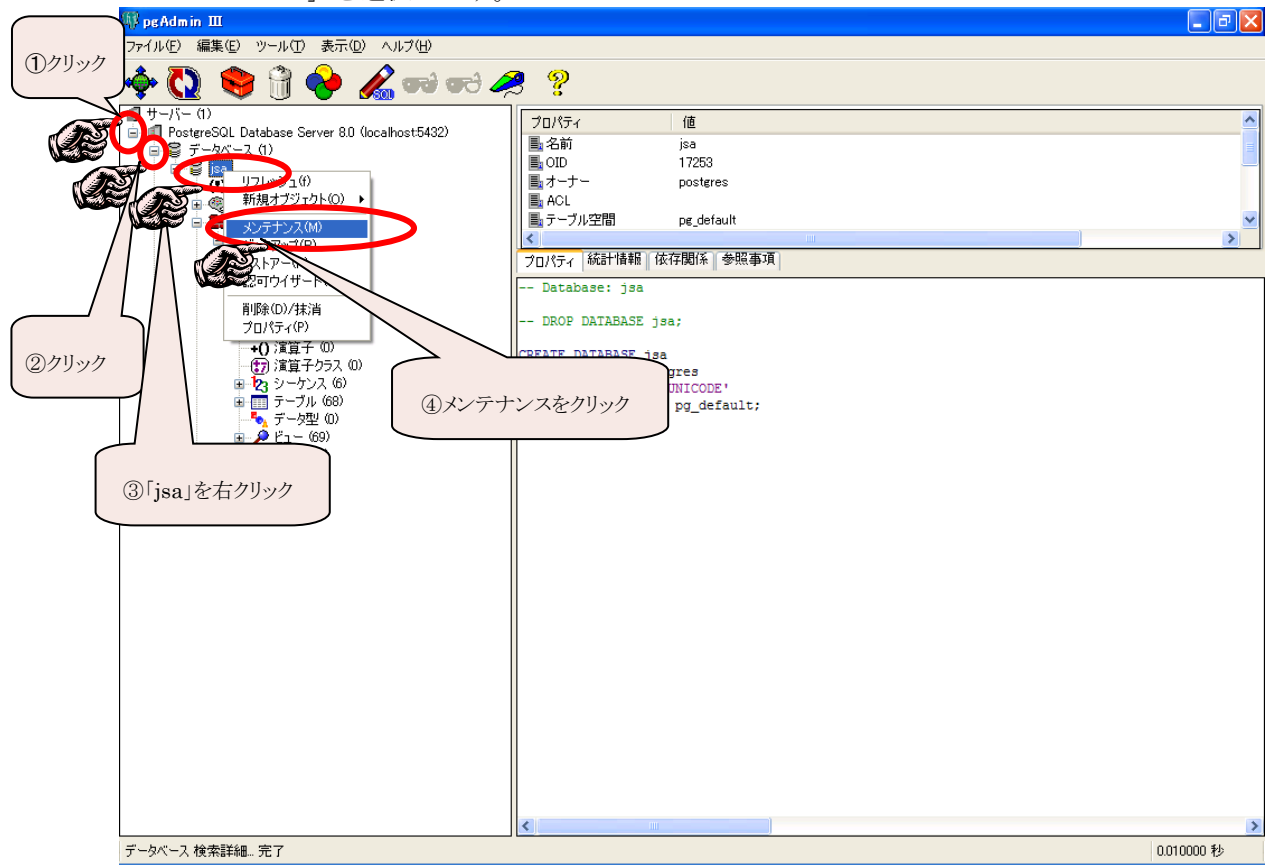


3.1.1(3) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

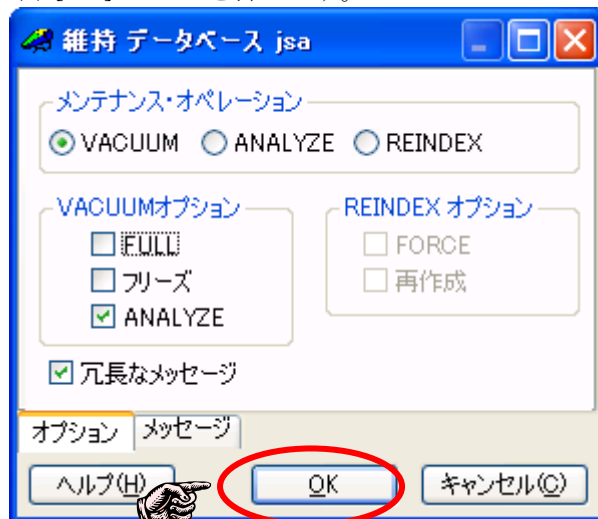


3.1.1(4) 「PostgreSQL Database Server ...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。

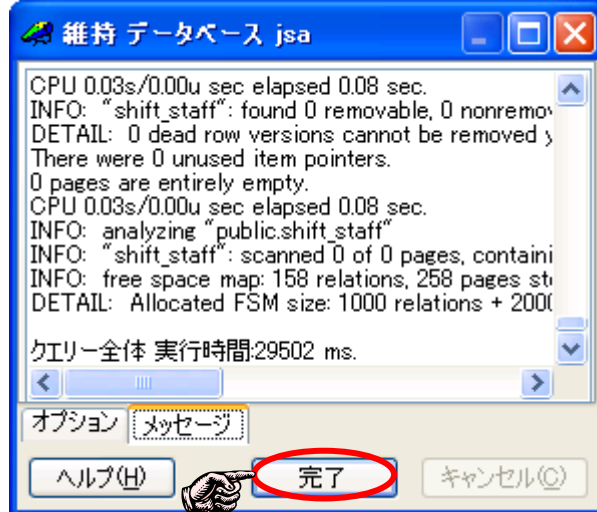
その後、「jsa」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「メンテナンス」を選択します。



3.1.1(5) [OK] ボタンを押します。



3.1.1(6) 処理が終了すると、以下のメッセージが表示されます。[完了]ボタンを押します。



以上でデータベースのデータのメンテナンスは完了です。

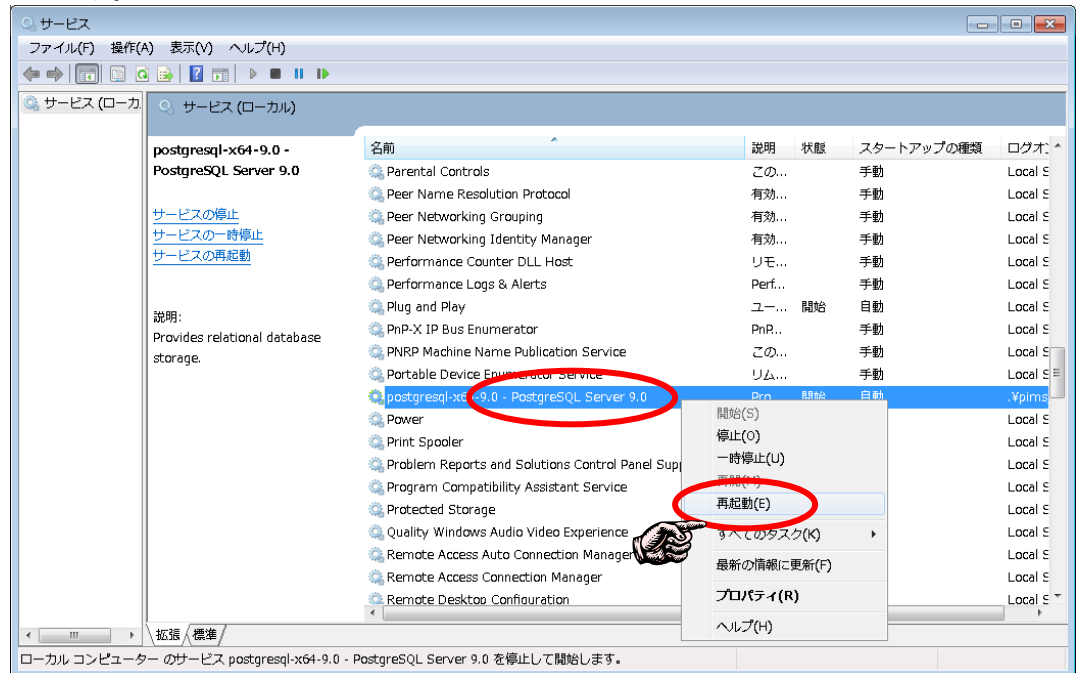
4 データベースのリストアー方法

4.1 Windows 8, 7, Vista, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合

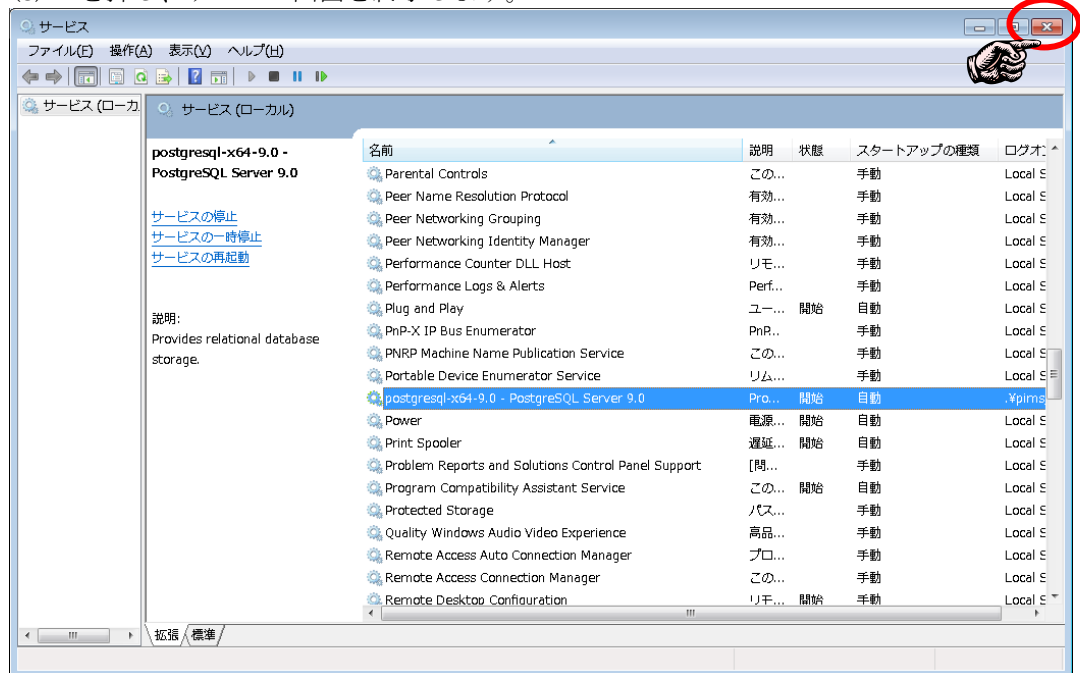
4.1.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「コントロールパネル」 | 「管理ツール」 | 「サービス」

4.1.1(2) サービス画面より、「...PostgreSQL Server 9.0」を右クリックし、「再起動」を選択します。



4.1.1(3) ×を押し、サービス画面を終了します。

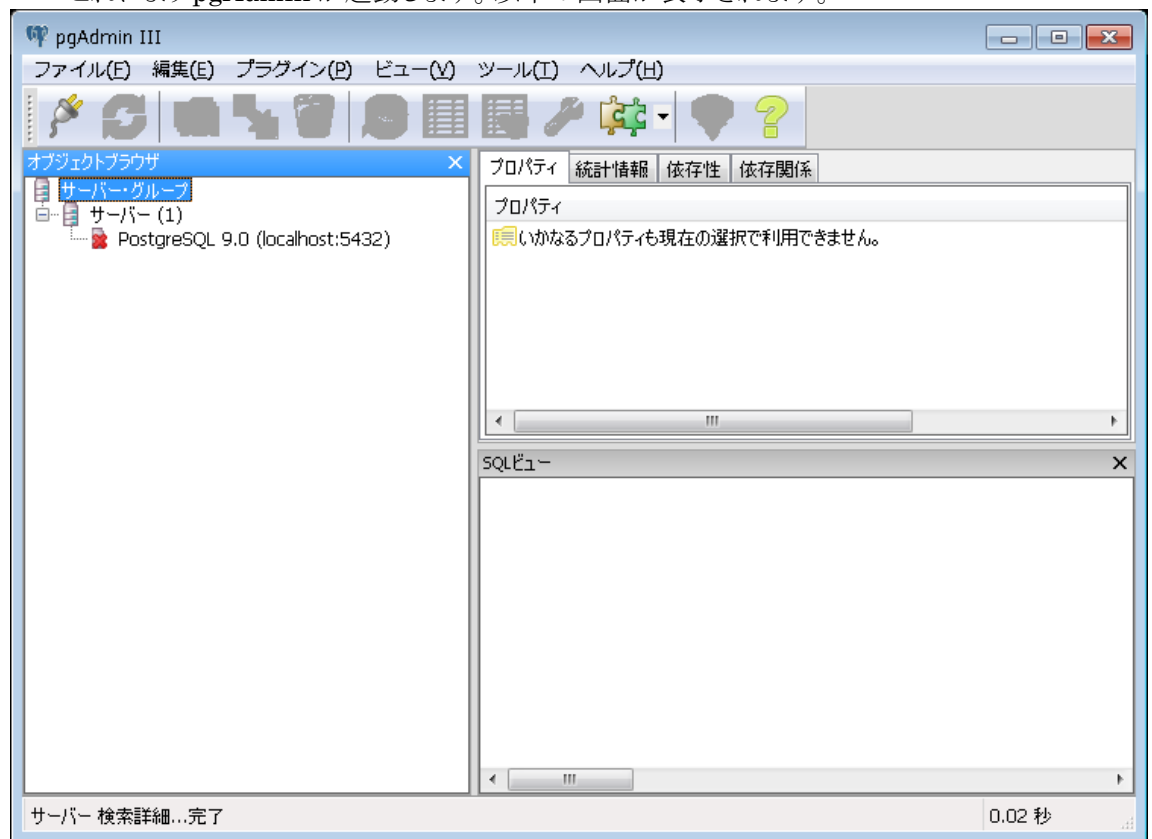


4.1.1(4) 次に以下メニューを選択します。

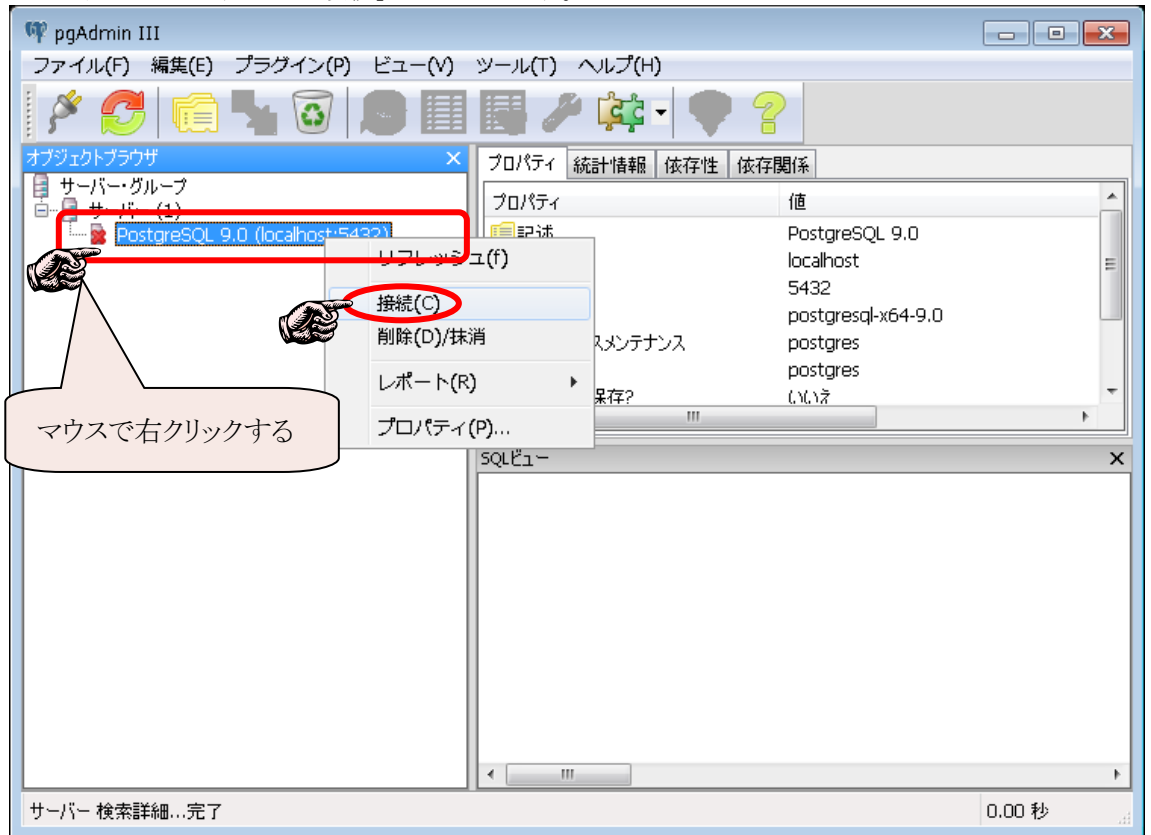
「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 9.0」 | 「pgAdmin III」

→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。

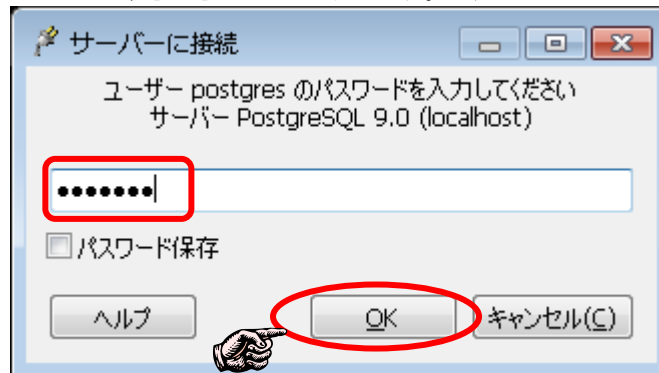
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



4.1.1(1) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

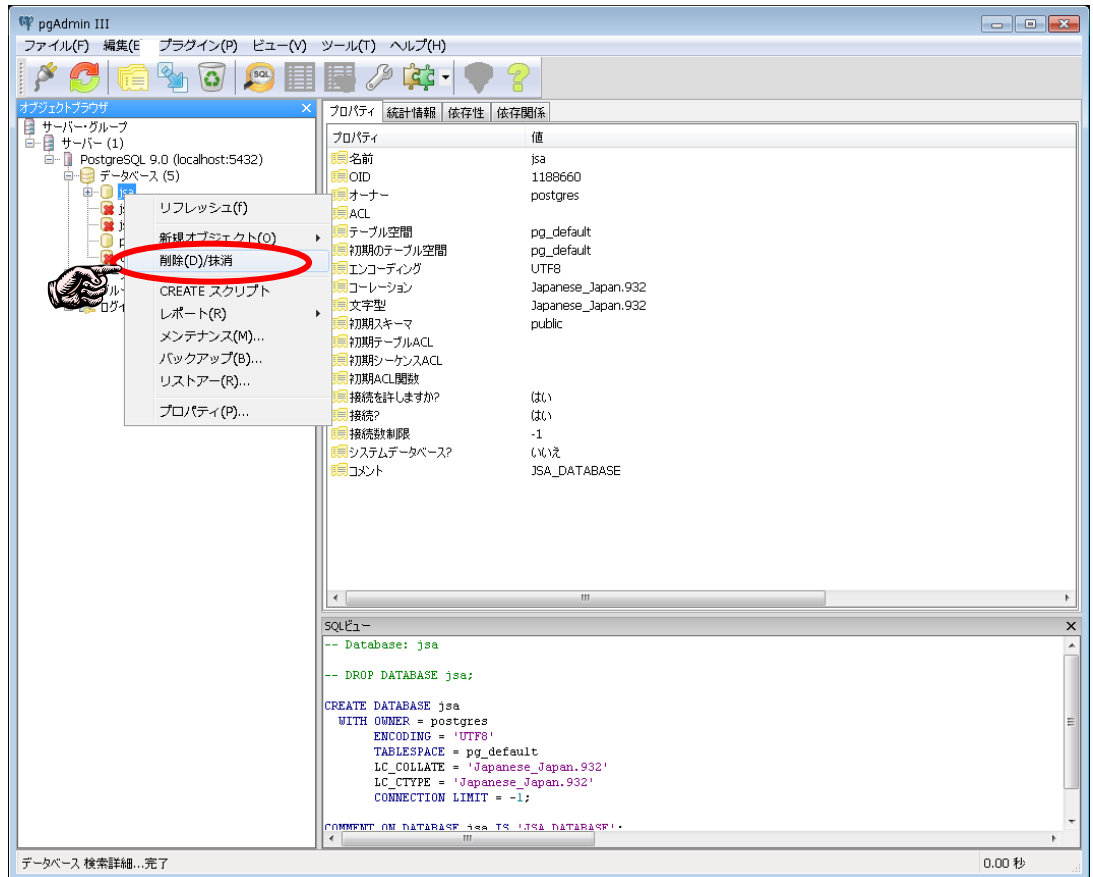


4.1.1(2) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

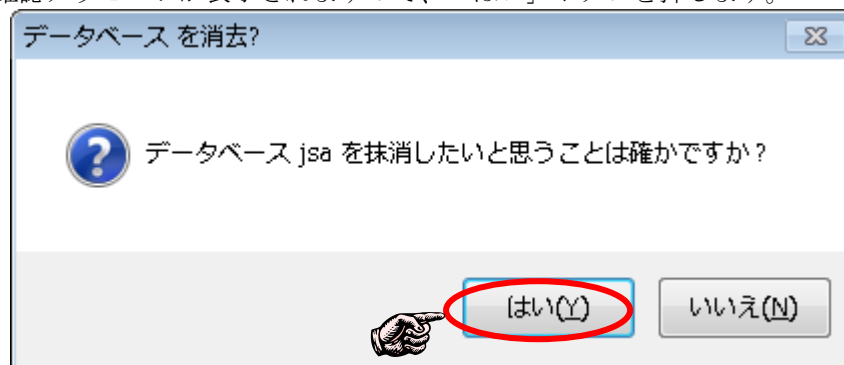


4.1.1(3) 「PostgreSQL Database Server...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。その後、「jsa」を右クリックします。メニューが表示されますので、「削除」を選択します。

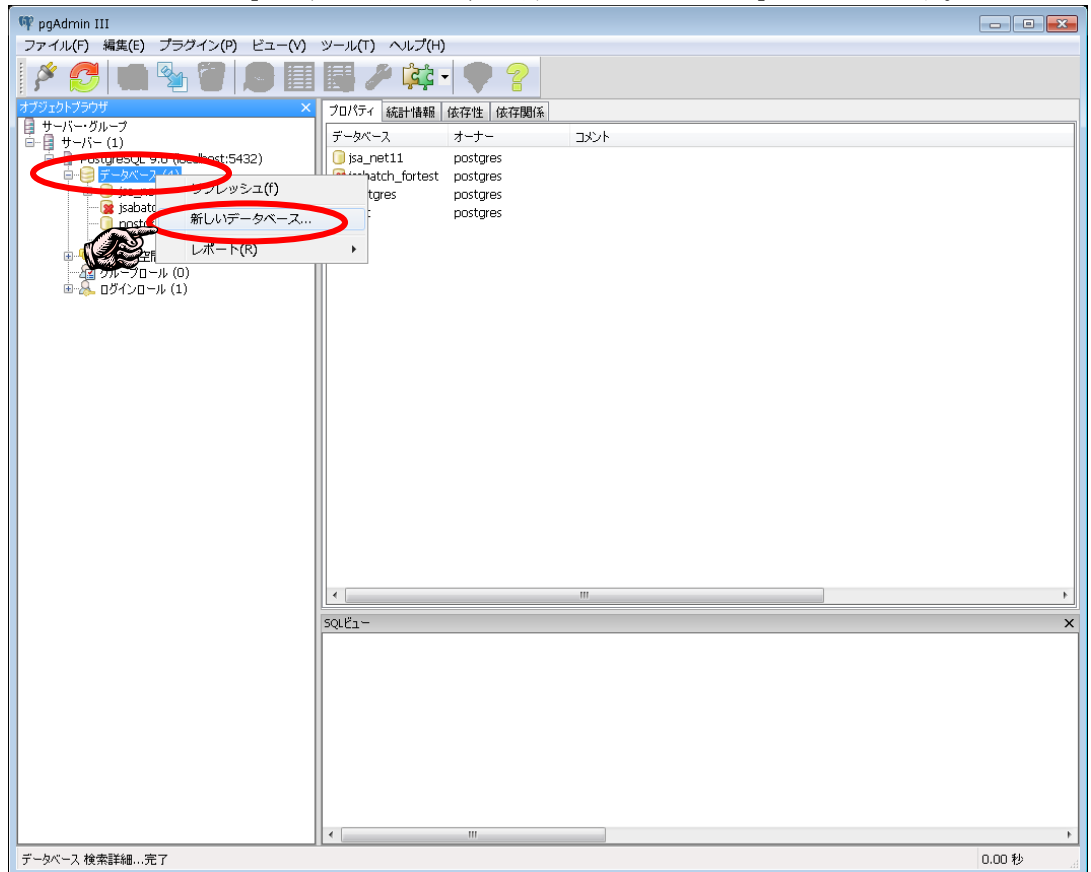
(※ 一旦、既存データベースを削除する必要があります。)



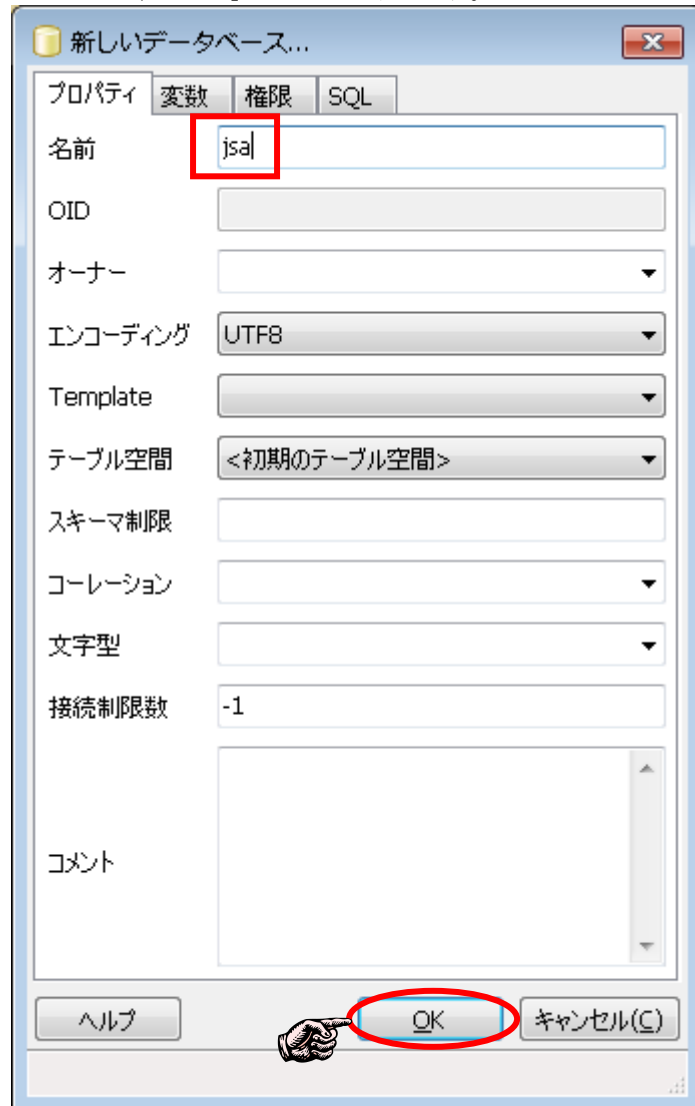
4.1.1(4) 確認メッセージが表示されますので、「はい」 ボタンを押します。



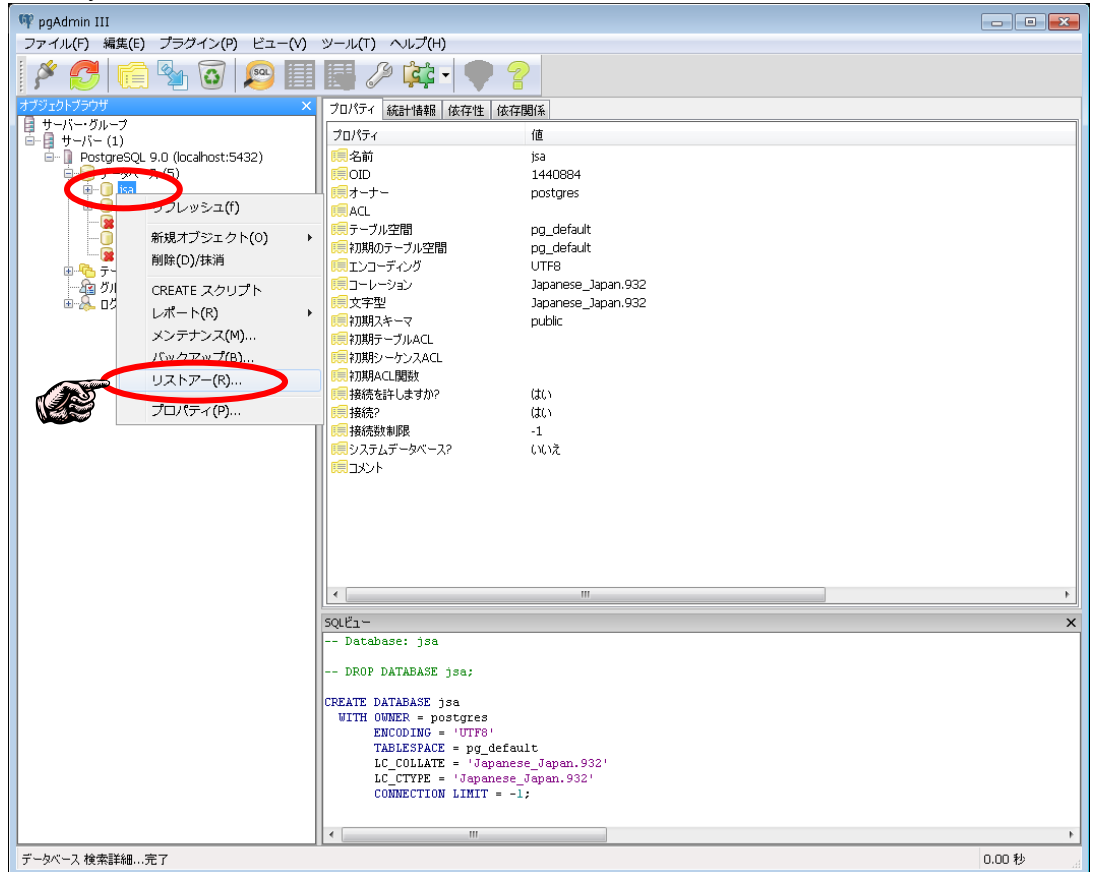
4.1.1(5) 「データベース」を右クリックし、「新しいデータベース」を選択します。



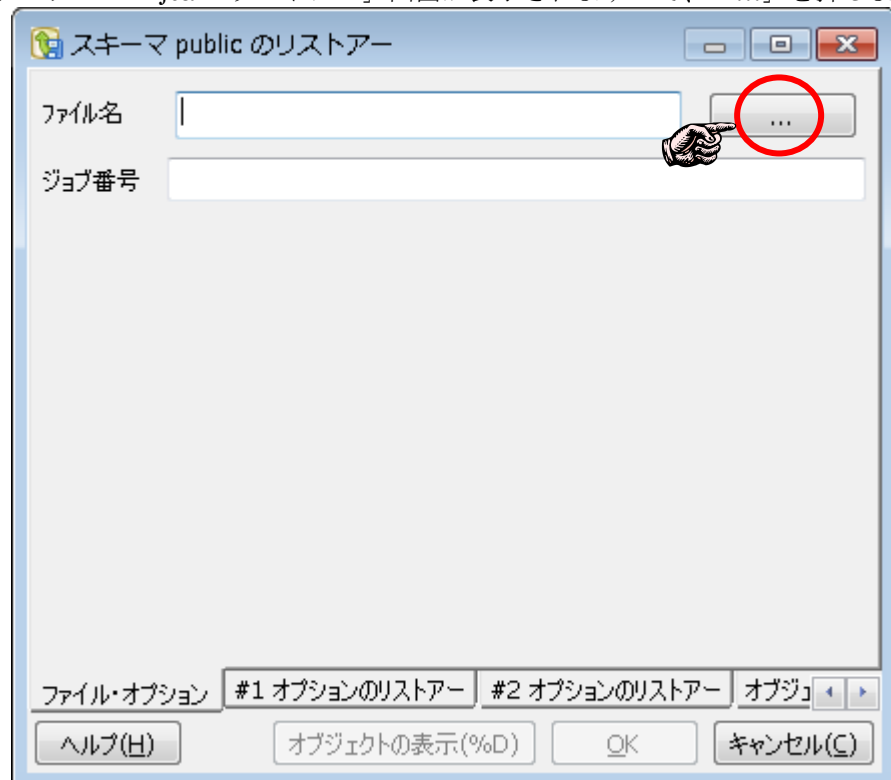
4.1.1(6) 「jsa」と入力して、「OK」ボタンを押します。



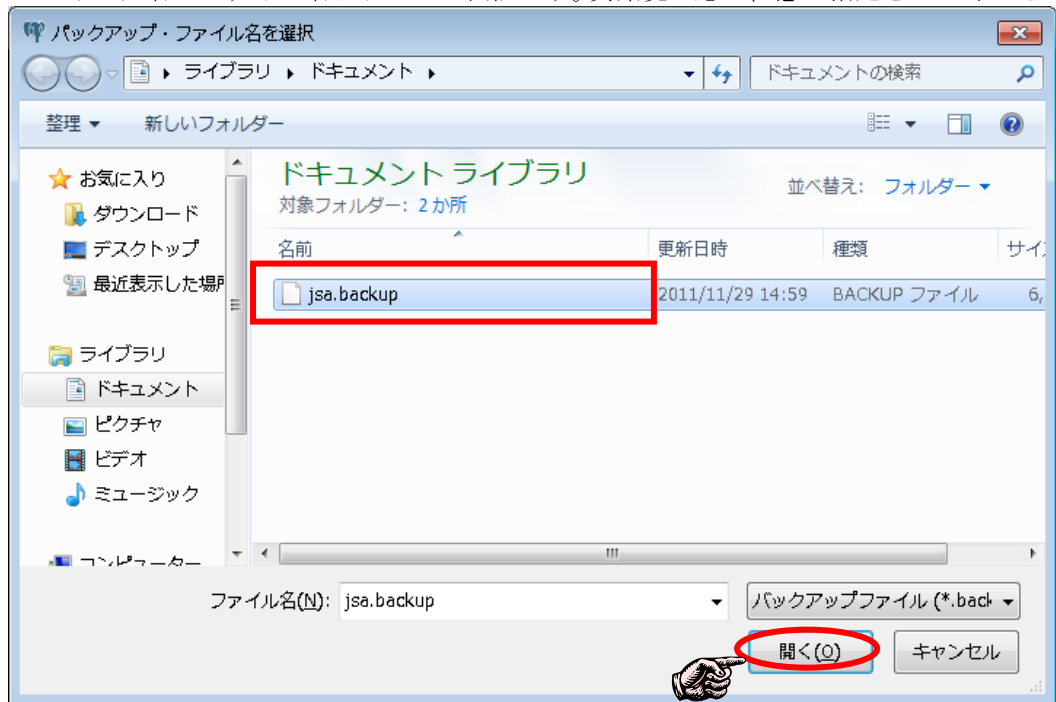
4.1.1(7) 「jsa」を右クリックし、「リストアー」を選択します。



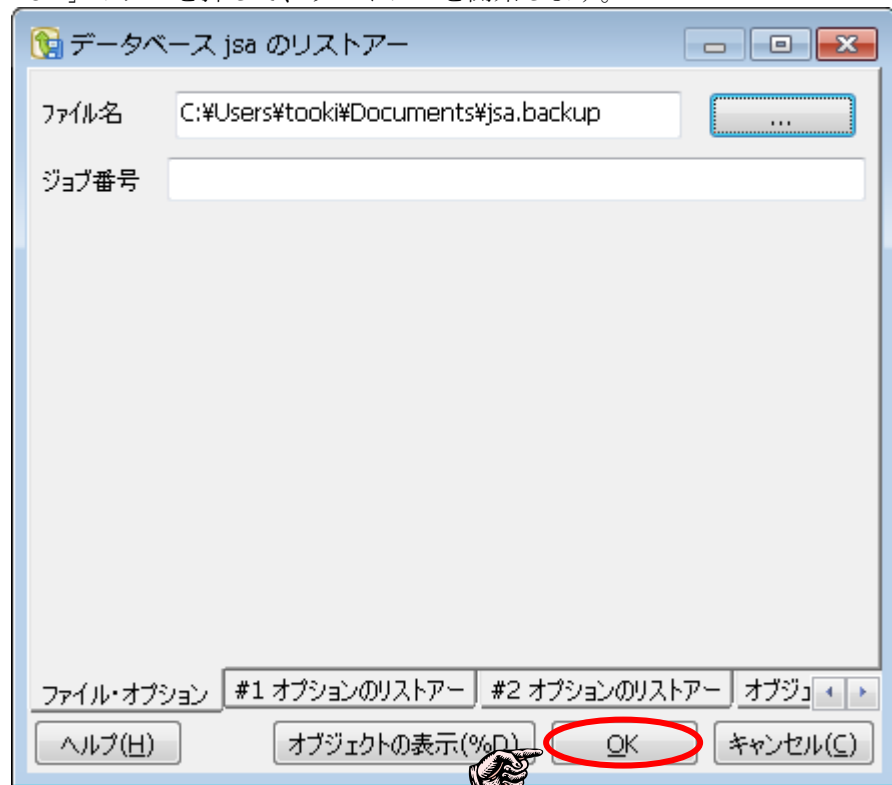
4.1.1(8) 「データベース jsa のリストアー」画面が表示されますので、「...」を押します。



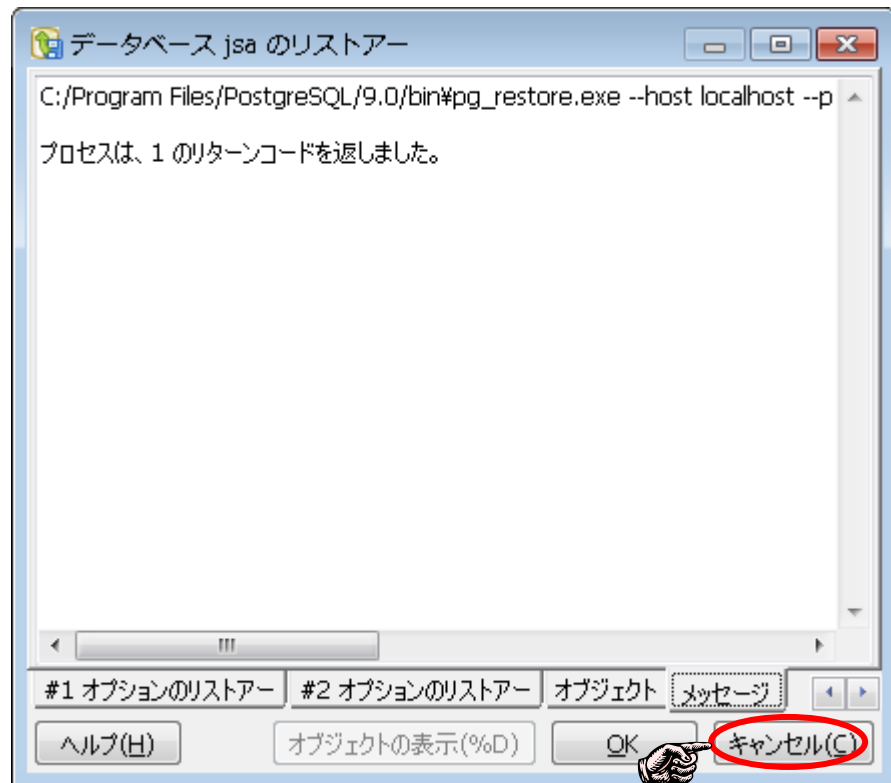
- 4.1.1(9) バックアップ済みのファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。（※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。）



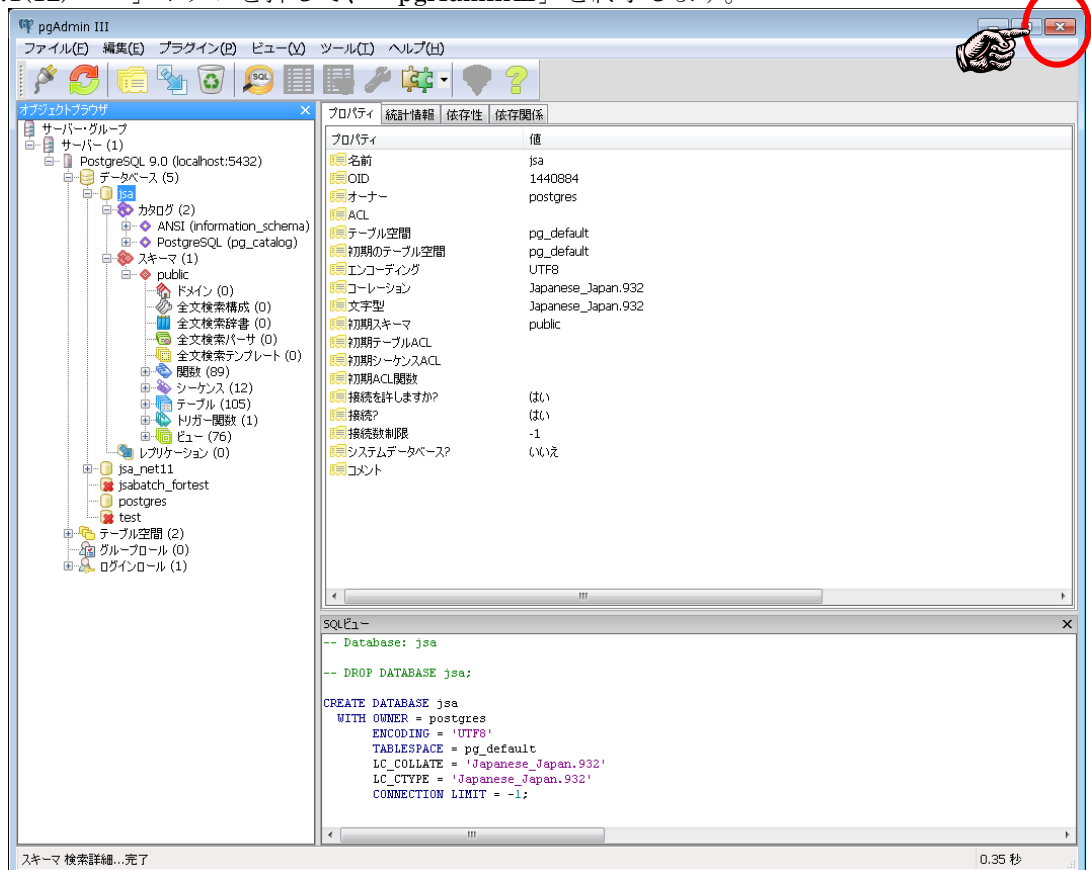
- 4.1.1(10) 「OK」ボタンを押して、リストアーを開始します。



- 4.1.1(11) リストアーが完了すると下記の画面が表示されます。「キャンセル」ボタンを押し、画面を閉じます。



- 4.1.1(12) 「×」ボタンを押して、「pgAdmin III」を終了します。



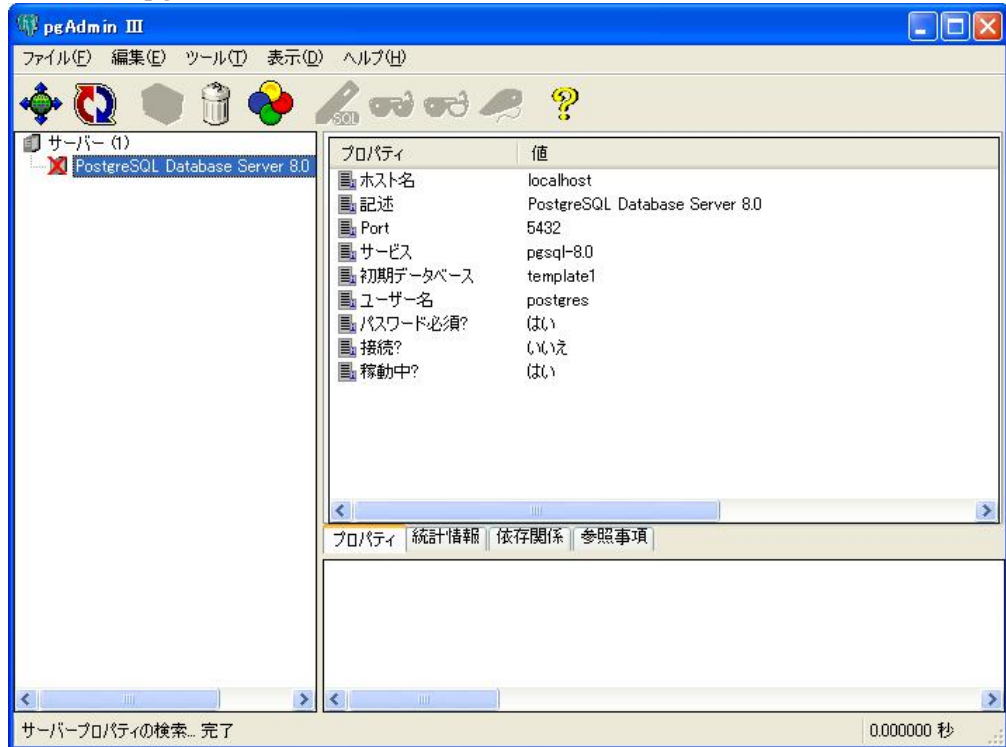
以上で、リストアー作業は完了です。

4.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合

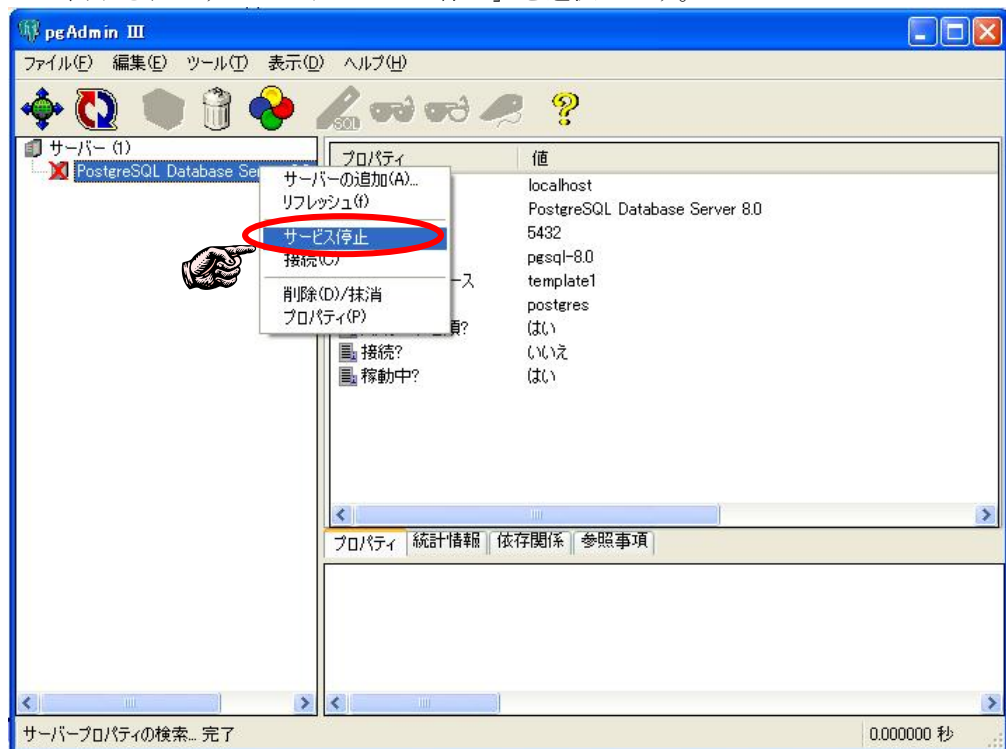
4.2.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 8.0」 | 「pgAdminIII」

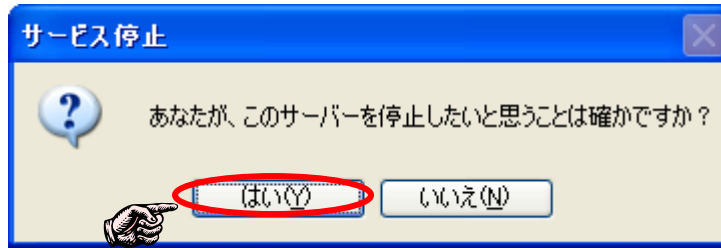
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



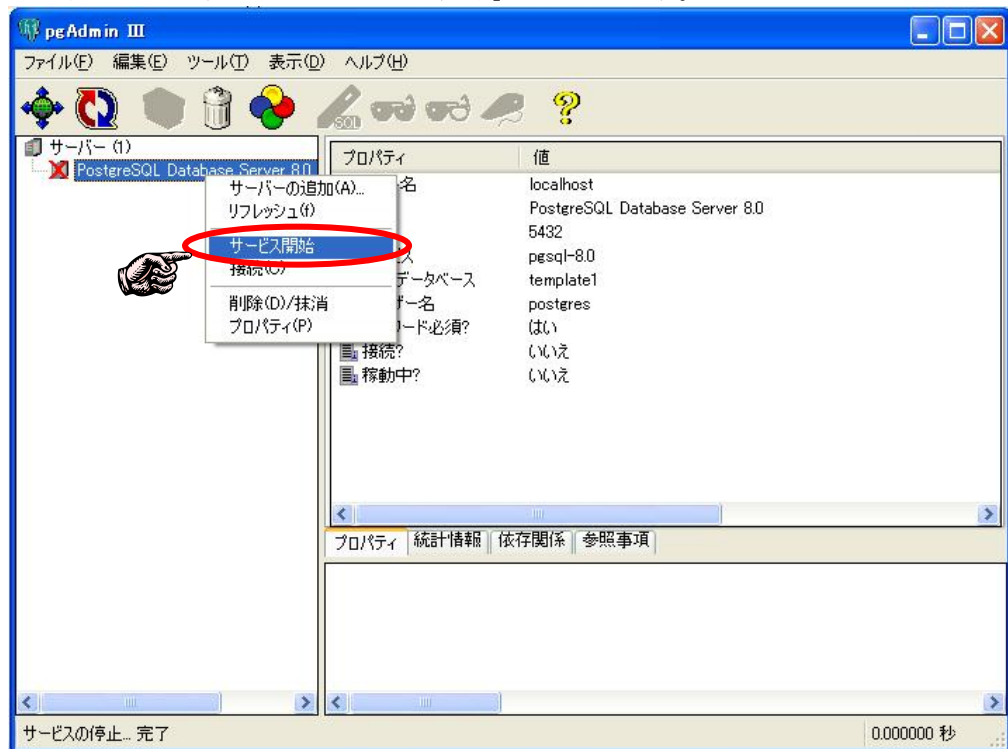
4.2.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」 をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「サービスの停止」を選択します。



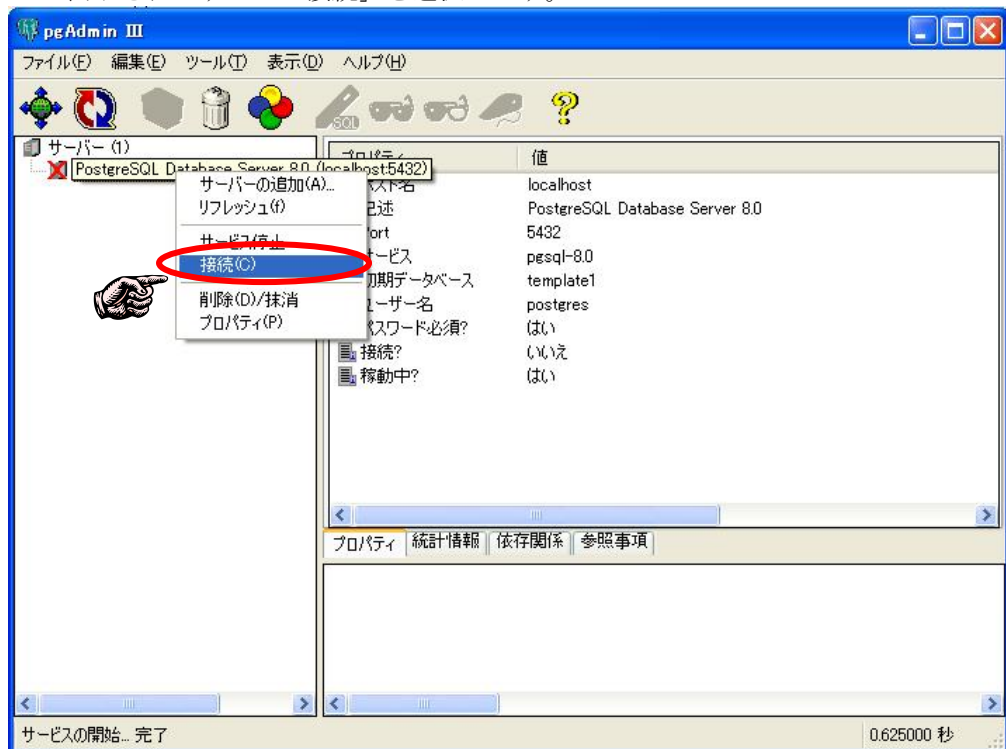
- 4.2.1(3) 確認メッセージ「あなたが、このサーバーを停止したいと思うことは確かですか?」が表示されますので「はい」ボタンを押します。



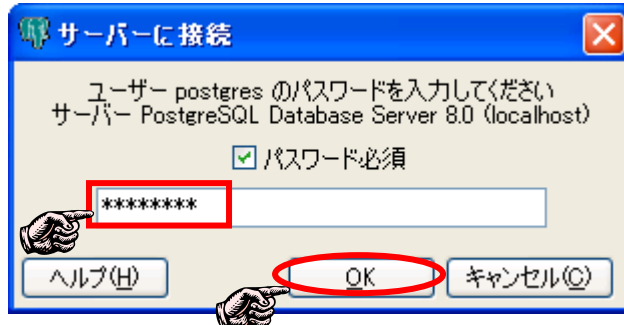
- 4.2.1(4) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「サービスの開始」を選択します。



- 4.2.1(5) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

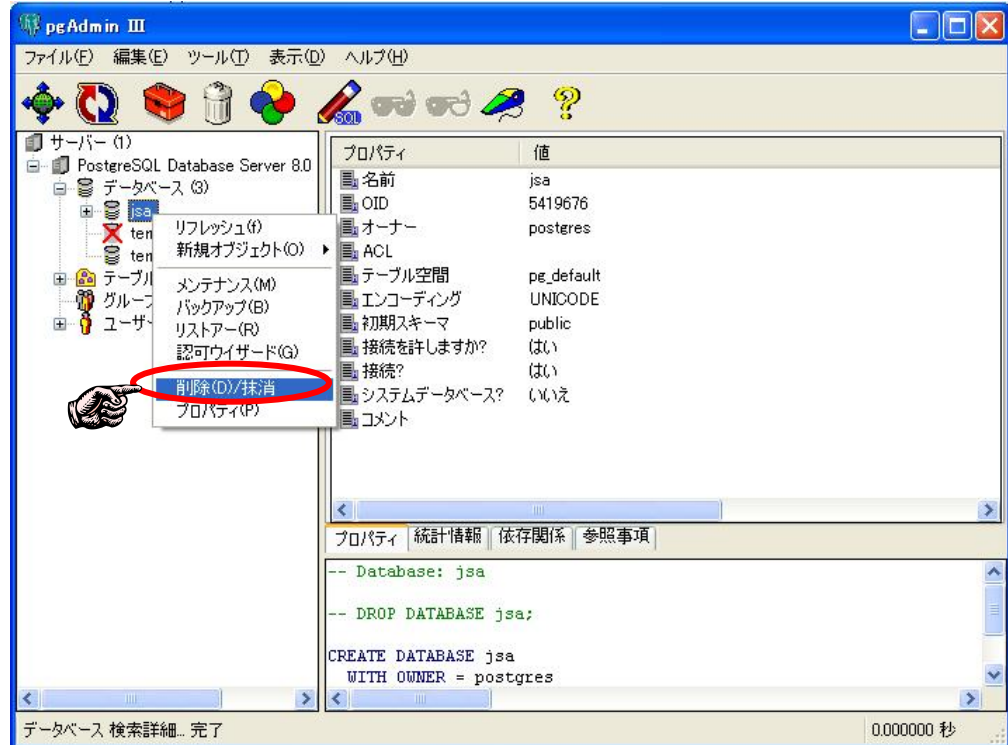


- 4.2.1(6) 「サーバーに接続」画面が表示されますので、<jsa2006>と入力し「OK」ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

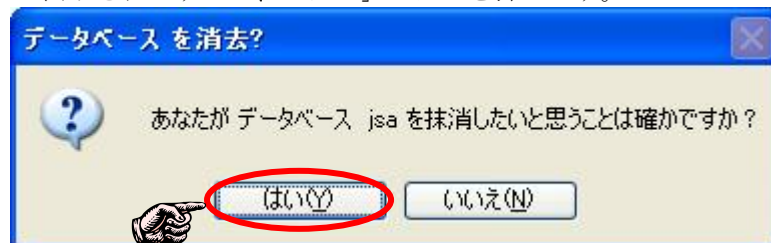


- 4.2.1(7) 「PostgreSQL Database Server...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。その後、「jsa」を右クリックします。メニューが表示されますので、「削除／抹消」を選択します。

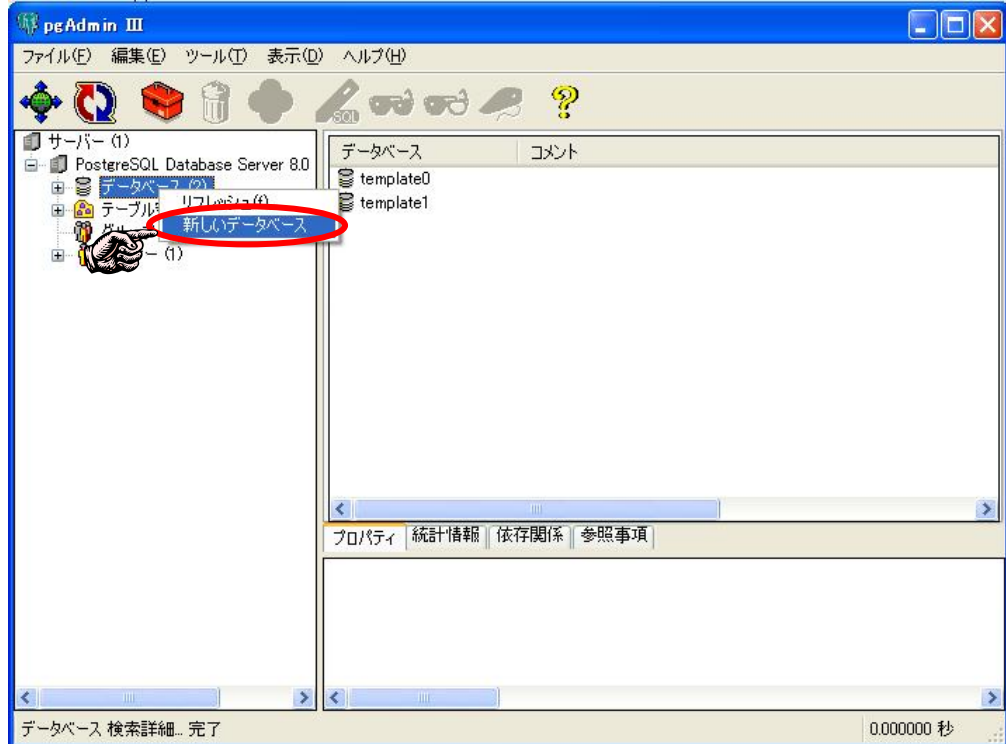
※ 一旦、登録されているデータを削除する必要があります。



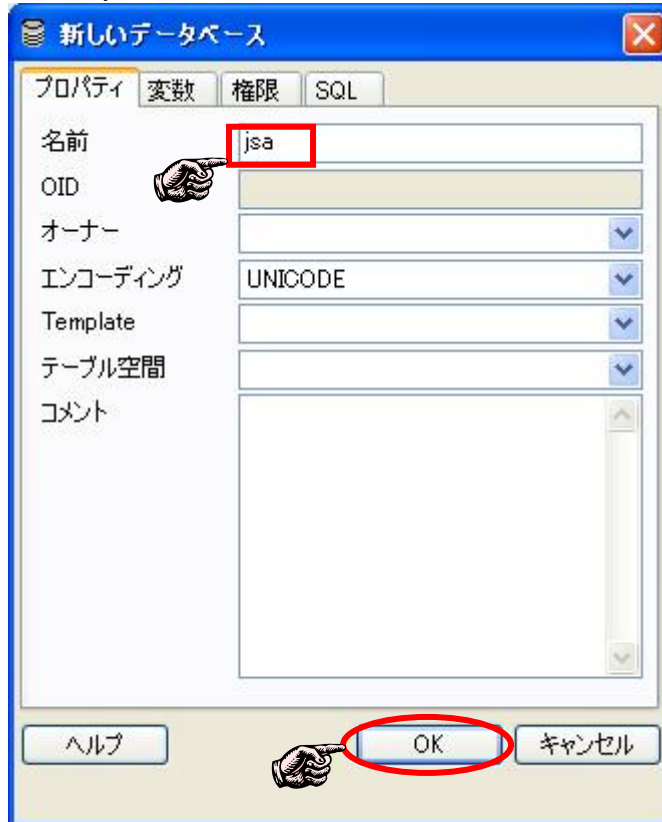
- 4.2.1(8) 確認メッセージ「あなたがデータベース jsa を抹消したいと思うことは確かですか?」が表示されますので、「はい」 ボタンを押します。



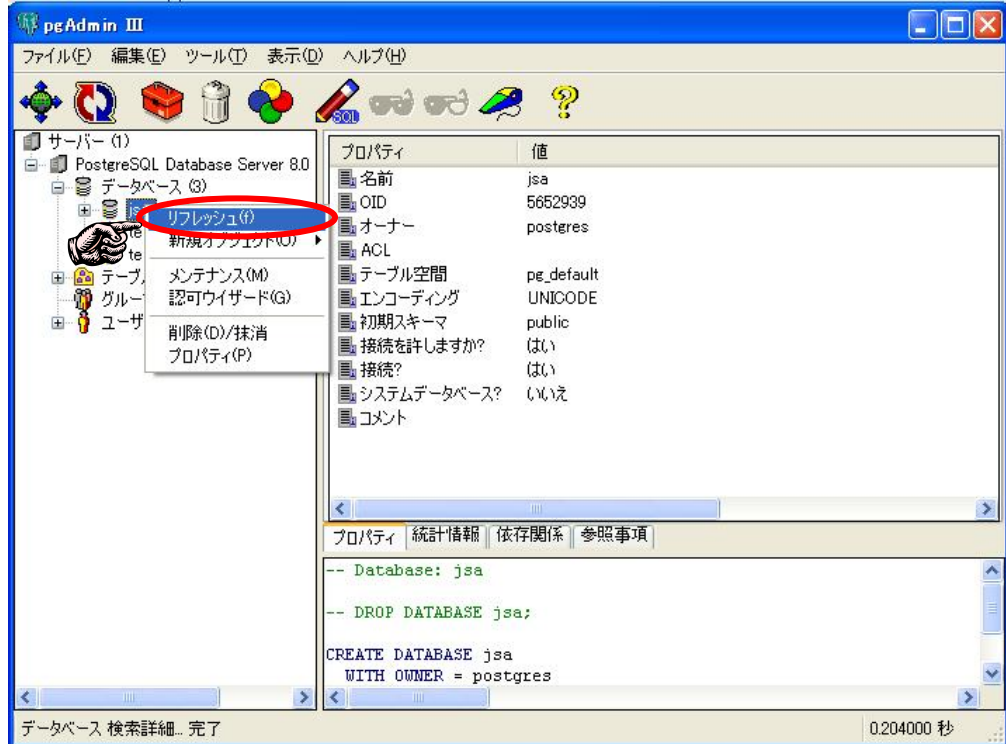
4.2.1(9) 「データベース」を右クリックして、「新しいデータベース」を選択します。



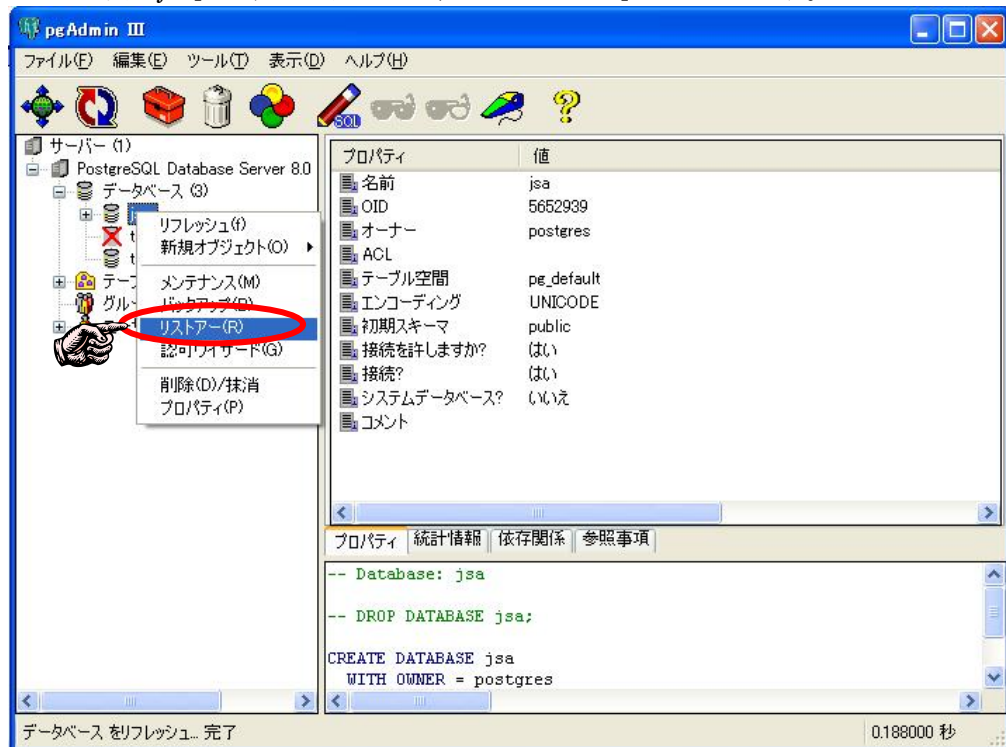
4.2.1(10) 「jsa」と入力して、「OK」ボタンを押します。



4.2.1(11) 新しく作成された「jsa」を右クリックして、「リフレッシュ」を選択します。



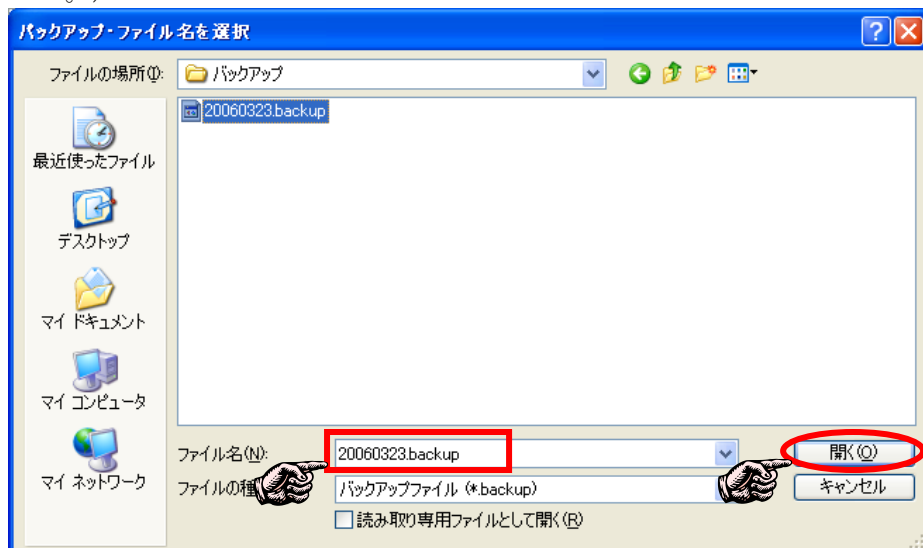
4.2.1(12) 再度「jsa」を右クリックして、「リストアー」を選択します。



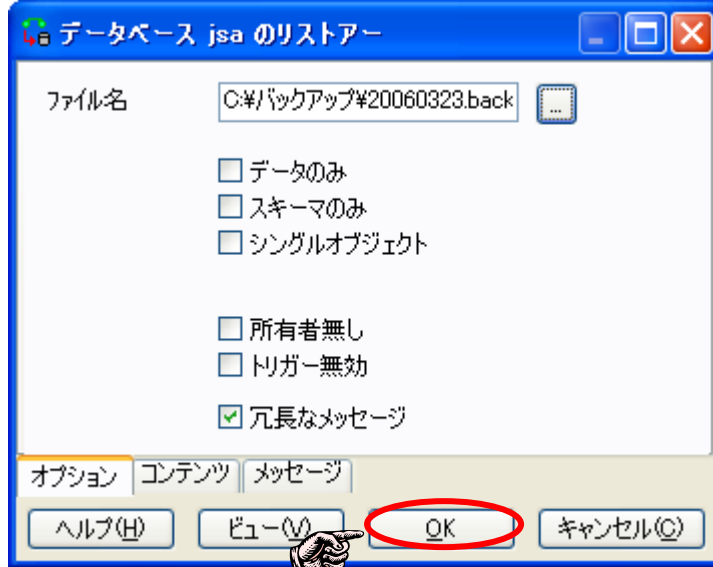
4.2.1(13) 「データベース jsa のリストアー」画面が表示されますので、「...」を押します。



4.2.1(14) バックアップしたファイルを選択して、「開く」ボタンを押します。（※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。）



4.2.1(15) 「OK」 ボタンを押して、リストアーを開始します。

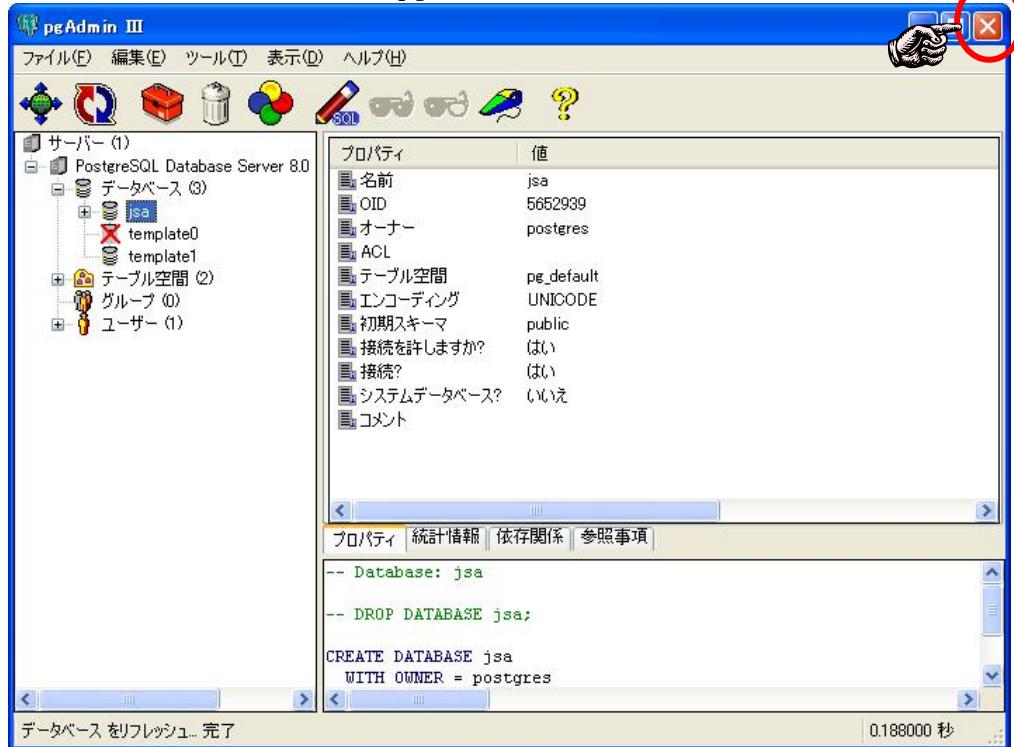


4.2.1(16) 「完了」 ボタンを押して、画面を閉じます。

※ 警告は出ていますが、リストアーは正常に終了しています。



4.2.1(17) 「×」ボタンを押して、「pgAdmin III」を終了します。



以上で、リストア作業は完了です。

5 学会提出用ファイルを作成するには

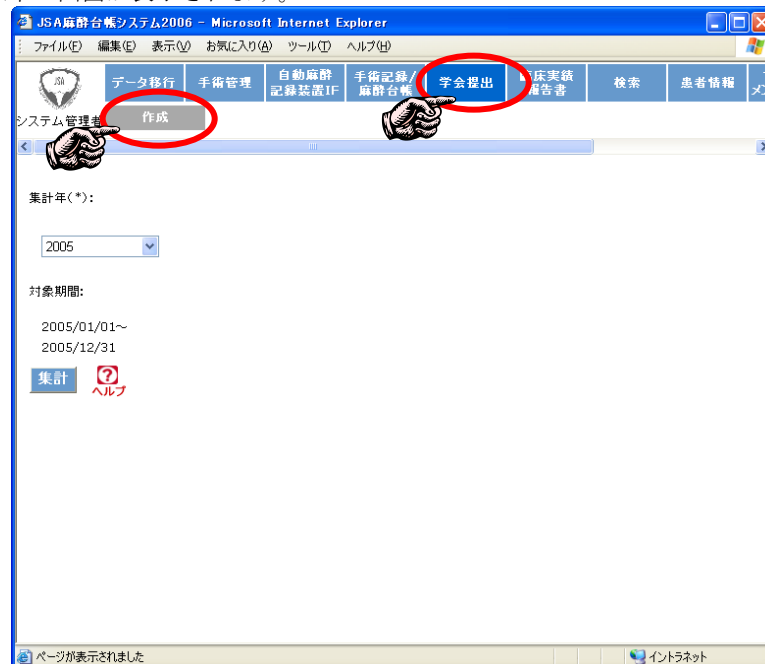
ここでは、学会提出用ファイルを作成する方法を説明します。

学会提出用ファイルには、[麻酔実施科]が[麻酔科]で登録されており、「手術記録/麻酔台帳登録」画面で[確定]されているデータが含まれます（但し、[手術記録/麻酔台帳登録]画面で[匿名化情報であっても提供の停止請求あり]にチェックが入っているデータは除きます）。

5.1 学会提出用ファイルの作成方法

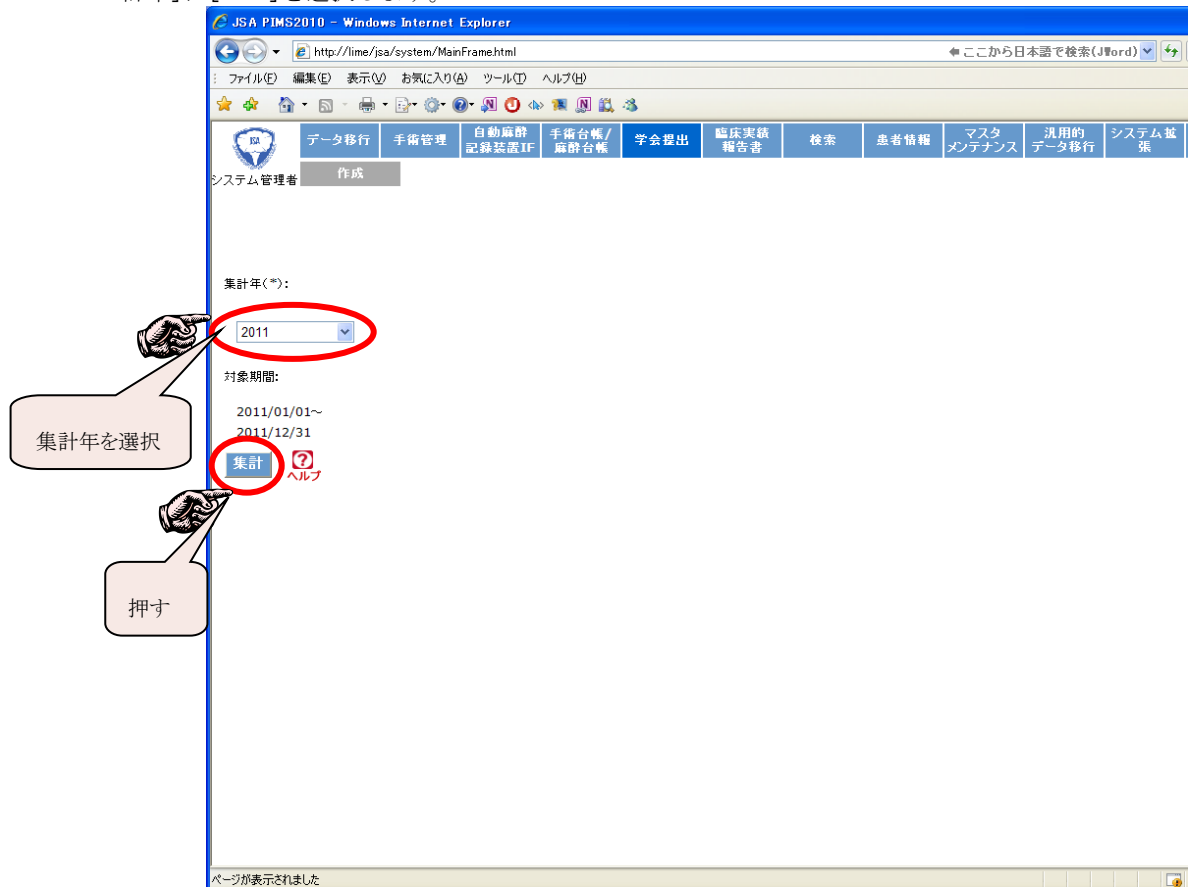
5.1.1(1) 「学会提出」 | 「作成」メニューを選択します。

→以下の画面が表示されます。



5.1.1(2) [集計年]を選択し、[集計]ボタンを押します。

ここで、[集計年]は、データの集計対象年を表します。2005 年から 2011 年まで選択可能です。
例えば、2011 年 (対象期間: 2011 年 1 月 1 日～12 月 31 日) の学会提出ファイルを作成するには、[集計年]に[2011]を選択します。



5.1.1(3) 右側に結果が表示されます。

システム管理者 作成

集計年(*):

2011

対象期間:

2011/01/01~
2011/12/31

集計 ヘルプ

ファイル作成

※全てのデータが確定されています。学会提出用ファイルが作成出来ます。

未確定一覧

メッセージを確認

【合計】

麻酔科症例	1	うち手術室内 1、手術室外 0					
提供停止症例数	0						

【ASA PS】

予定1	2	3	4	5	6(臓器摘出を受ける脳死患者が対象)	合計
0	1	0	0	0	0	1

緊急1E	2E	3E	4E	5E	6E(臓器摘出を受ける脳死患者が対象)	合計
0	0	0	0	0	0	0
合計						1

【手術部位】

a.脳神経・脳血管	0	h.頭頸部・咽喉部	0
b.胸腔・縦隔	0	k.胸壁・膈壁・会陰	0
c.心臓・血管	1	m.脊椎	0
d.胸腔+腹部	0	n.股関節・四肢(含:末梢神経)	0
e.上腹部内臓	0	p.検査	0
f.下腹部内臓	0	x.その他	0
g.帝王切開	0	合計	1

【麻酔法】

A.全身麻酔(吸入)	1	F.硬膜外麻酔	0
B.全身麻酔(TIVA)	0	G.脊髄くも膜下麻酔	0
C.全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝麻	0	H.伝達麻酔	0
D.全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝麻	0	X.その他	0
E.脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔(CSEA)	0	合計	1

ページが表示されました

ここで、画面上部に青字で

【※全てのデータが確定されています。学会提出用ファイルが作成出来ます。】

と表示されていると、学会提出用ファイルが作成可能です。

この場合、[ファイル作成]ボタンを押します。

※ここで赤字で

【※未確定データが〇件あります。】

と表示されている場合は、学会提出用ファイルを作成することはできません。[未確定一覧]ボタンを押し、未確定の麻酔台帳データを確定してください。



参照

「5.2 麻酔台帳の未確定データを確定するには」を参照してください。

5.1.1(4) 各入力欄を記入し、[ファイル作成]を押します。(画面イメージはサンプルです)

■施設概要

病院の種類(*)	その他の総合病院
病院の所在地(*)	関東・甲信越(東京を除く)
病床数(*)	1 床
年間手術数(*)	1 例
年間麻酔科管理症例数	1例

■手術室に勤務する麻酔科医
12月第1週(月～金)の1日平均で記入して下さい。
(小数点以下1桁が有効)

常勤専門医(*)	1 人
常勤麻酔科医(*)	2 人
非常勤麻酔科医(*)	3 人
小計	6人
ローテータ(*)	4 人
合計	10人

ファイル作成 閉じる ヘルプ

5.1.1(5) [保存]ボタンを押します。

ファイルのダウンロード

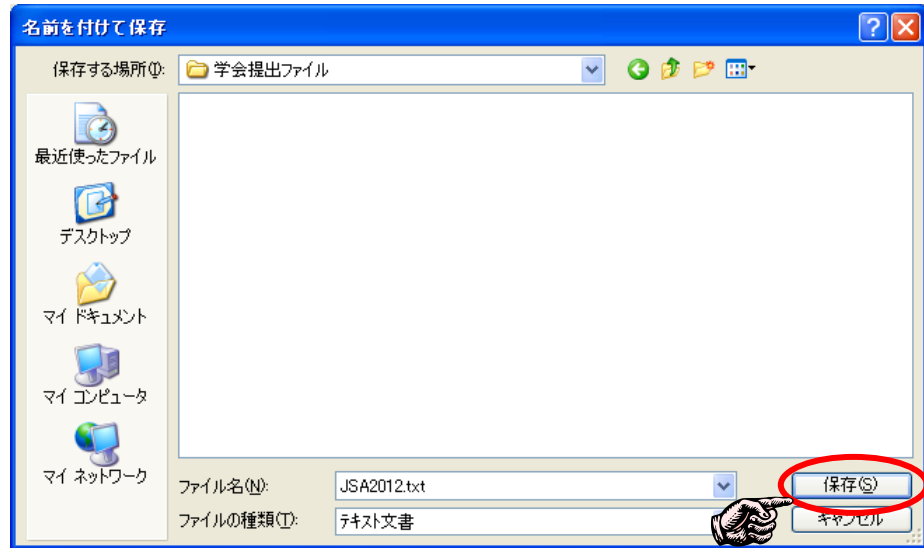
このファイルを開くか、または保存しますか?

名前: JSA2012.txt
種類: テキストドキュメント, 1.58 KB
発信元: lime

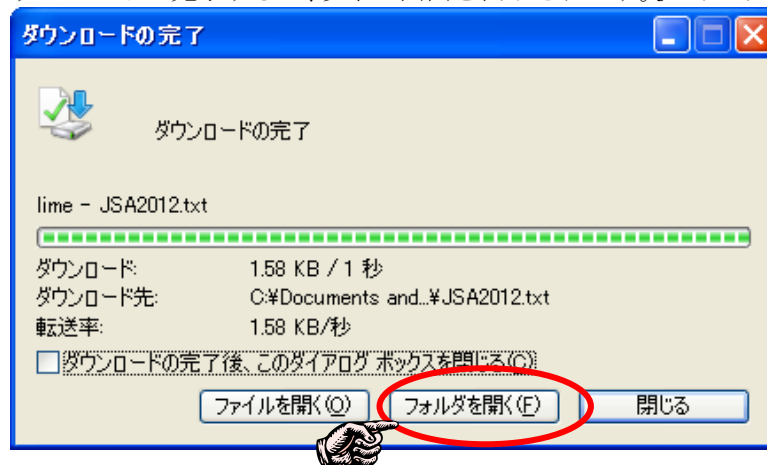
開く(O) 保存(S) キャンセル

インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピュータに問題を
起こすものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保
存したりしないでください。危険性の説明

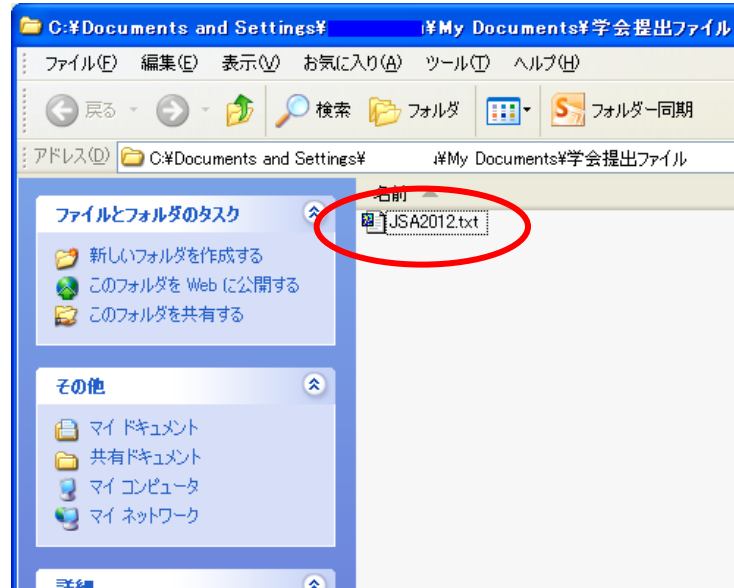
5.1.1(6) 任意の場所を指定し、[保存]ボタンを押します。(画面はサンプルです)



5.1.1(7) ダウンロードが完了すると、以下の画面を表示されます。[フォルダを開く]を押します。



5.1.1(8) フォルダが開き、学会提出ファイルが作成されていることが確認できます。



このファイルをファイルを、CD-R などにコピーし日本麻酔科学会にご提供ください。

5.1.1(9) [閉じる]を押します。(画面イメージはサンプルです)

http://lime/?yearnm=2011 - ■学会提出ファイル作成-施設概要...

■施設概要

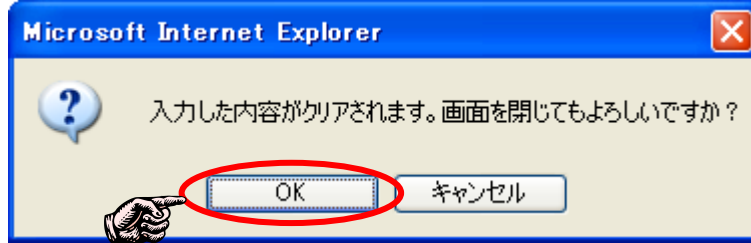
病院の種類(*)	その他の総合病院
病院の所在地(*)	関東・甲信越(東京を除く)
病床数(*)	1 床
年間手術数(*)	1 例
年間麻酔科管理症例数	1例

■手術室に勤務する麻酔科医
12月第1週(月～金)の1日平均で記入して下さい。
(小数点以下1桁が有効)

常勤専門医(*)	1 人
常勤麻酔科医(*)	2 人
非常勤麻酔科医(*)	3 人
小計	6人
ローテータ(*)	4 人
合計	10人

ファイル作成 閉じる ? ヘルプ

5.1.1(10) 以下のアラートが表示されます。[OK]を押します。



以上で、学会提出用ファイルの作成は完了です。

(8) 項にて作成したファイルを、学会にご提供ください。

5.2 麻酔台帳の未確定データを確定するには

麻酔台帳に未確定データがある場合は、学会提出用ファイルは作成できません。
ここでは、学会用提出ファイルの作成をするために、未確定データを確定する方法を説明します。

5.2.1(1) 「未確定一覧」を押します。

The screenshot shows the 'JSA - Microsoft Internet Explorer' window with the 'Anesthesia Record' (麻酔台帳) tab selected. The 'File Creation' (ファイル作成) button is highlighted, and a red circle highlights the 'Unconfirmed List' (未確定一覧) button. A red text box indicates '※未確定のデータが10件あります。' (There are 10 unconfirmed data items).

集計年(*): 2005

【合計】
麻酔科症例 5 (うち手術室内 5、手術室外 0)

対象期間:
2005/01/01~
2005/12/31

【ASA PS】

予定1	2	3	4	5	6(臓器抽出を受ける脳死患者が対象)	合計
3	0	0	0	0	0	3

【緊急1E】

2E	3E	4E	5E	6E(臓器抽出を受ける脳死患者が対象)	合計
0	0	0	1	0	1

【手術部位】

合計 4

5.2.1(2) 麻酔台帳の未確定データの一覧を表示します。

※ここで表示するのは、[麻酔実施科]が[麻酔科]で登録されており（但し[手術記録/麻酔台帳登録]画面で[匿名化情報であっても提供の停止請求あり]にチェックが入っているデータは除く）、「手術記録/麻酔台帳登録」画面で[確定]がされていないデータです。

当該データの[選択] ボタンを押します。

The screenshot shows the 'JSA - Microsoft Internet Explorer' window with the 'Anesthesia Record' (麻酔台帳) tab selected. The 'Select' button is circled in red. A red text box indicates '※未確定のデータが10件あります。' (There are 10 unconfirmed data items).

戻る

確定済/未	患者氏名	手術室	予定手術開始時刻	予定手術終了時刻	手術予定時間	実績手術開始時刻	実績手術終了時刻	科名	備考
未	00001 9991	手術室A	9/5 1:00	9/5 6:00	05:00	9/5 0:00			椎間3加算(1502ガンダリオン圧砕夜間、休日加算)
未	1018 1018777	未指定			02:00	10/21 12:00	10/21 14:30	心療内科	足底腱膜切離術・腸閉塞手術(結腸)
未	1018 1018777	手術室D	10/26 10:00	10/26 13:00	03:00	10/26 10:00			
未	12 患者12	手術室G	10/22 12:00	10/22 14:00	02:00	10/23 10:00			
未	12 患者12	手術室A	10/24 12:00	10/24 15:00	03:00	10/24 11:00	10/24 12:00	心療内科	施設基準不適合(椎間3加算(1502深夜加算(麻酔))
未	1212 1111	未指定				10/26 10:18			
未	124 患者氏名	手術室A	10/10 11:00	10/10 13:00	02:00	12/10 10:20		心療内科	
未	23457 23457	未指定				10/27 10:25			
未	2655 テスト患者2655	手術室G	10/27 10:00	10/27 12:00	02:00	10/25 12:35	10/2 12:58	内科	
未	31715 樋口喜子	手術室A	10/12 10:00	10/12 12:00	02:00	10/12 10:00		心療内科	

(未登録)

5.2.1(3) [手術記録/麻酔台帳登録] 画面を表示します。本画面で必須項目を入力した後、[確定]を押します。

■手術記録/麻酔台帳登録

学会提出 ☐ 匿名化情報であっても提供の停止請求あり ※チェックすると学会提出ファイルに含みません

【患者情報】 患者情報 手術情報 進捗時刻 輸血量 麻酔薬 術後回診 全て表示

患者ID(*)	02	患者氏名ふりがな	てすとかんじゃ02
患者氏名(*)	テスト患者02	年齢(*)	24 歳 月 日
生年月日(YYYY/MM/DD)	1980/12/12 昭和55年12月12日	血液型	A + 確定 未確定
性別(*)	男性	体重(kg)	kg
身長(cm)	cm	感染症	
科		主治医	選択
病棟		最終更新日時	2005/11/02 21:27:39
最終更新者名	システム管理者		

確定 一時保存 削除 戻る ヘルプ

- 5.2.1(4) 偶発症例が未確定の場合には、[手術記録/麻酔台帳登録]画面の[手術情報]ボタンを押し、その後[偶発症例]ボタンを押します。

■手術記録/麻酔台帳登録

学会提出 ☐ 匿名化情報であっても提供の停止請求あり ※チェックすると学会提出ファイルに含みません

【手術情報】 患者情報 手術情報 進捗時刻 輸血量 麻酔薬 術後回診 全て表示

偶発症例

予定:手術日 2005/11/01 火曜日 入室時刻 23 時 00 分 ☐ オンコール 順位

予定:手術室滞在時間 20 時間 45 分 退室時刻 2005/11/2 19:45

麻酔場所 ☒ 手術室内 ☐ 手術室外 手術室 手術室2

術後搬送先 病棟

術後:手術対象疾病名 選択 予定:手術対象疾病名 選択

実施:術式名 選択 予定:術式名 選択

体位(*) もしくはコメント

術者・助手 選択

直接介護師 選択 間接介護師 選択

- 5.2.1(5) 「偶発症例登録」画面が表示します。本画面で必須項目を入力した後、[確定]を押します。

■偶発症例登録

年齢区分 ~65歳 性別 男性 ASA PS

手術部位 体位 麻酔法

偶発症の種類(*) その他の場合(注:危機的ないし神経系偶発症ではないが、記録すべきと判断される偶発症をご記入ください)

発症時期(*)

防止の可能性(*)

転帰(*) その他の場合

偶発症の原因(*) その他の場合

偶発症の成因 ※偶発症の原因が「麻酔管理が原因」の場合、以下を入力してください。

術前評価不十分		知識不足	
技術不足		状況判断の遅れ	
コミュニケーション不足		看護不十分	
過重労働		マンパワー不足	
その他			

最終更新日時 最終更新者

確定 一時保存 削除 戻る ヘルプ

5.2.1(6) 確定ができましたら「戻る」ボタンを押し、未確定一覧に戻ります。未確定のデータがなくなるまで、これらの操作を繰り返します。

5.3 学会への情報提供停止の請求があったことを記録するには

患者から学会への情報提供停止の請求があった場合には、その請求があったことを記録することができます。その記録をしたデータは学会提出用ファイルには含まれません。

ここでは、学会への情報提供停止請求があったことを記録する方法を説明します。

※この操作は、管理者のみが行える操作です。

5.3.1(1) 「麻醉台帳」 | 「登録」メニューを選択します。

5.3.1(2) 麻醉台帳の検索画面で、提供を停止する麻醉台帳を検索し、「選択」ボタンを押します。

5.3.1(3) 以下の画面が表示されます。「学会提出」の「匿名化情報であっても提供の停止請求あり」チェックボックスにチェックを入れます。その後、「確定」もしくは「一時保存」ボタンを押します。

5.4 麻酔台帳を削除するには

ここでは、麻酔台帳のデータを削除する方法を説明します。

※この操作は、管理者のみ行える操作です。

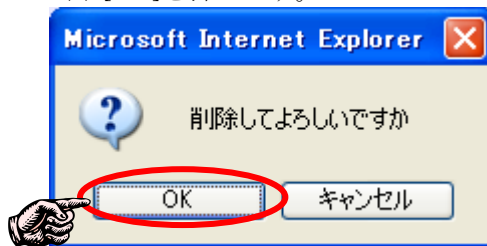
5.4.1(1) [麻酔台帳] | [登録]メニューをクリックします。

5.4.1(2) 麻酔台帳の検索画面で、削除する麻酔台帳を検索し、[選択] ボタンを押します。

5.4.1(3) 以下の画面が表示されます。

[削除] ボタンを押します。

5.4.1(4) [OK]を押します。



6 システム利用ユーザを登録するには

6.1 ユーザ登録と利用権限の設定

ここでは、ユーザの登録方法を説明します。

6.1.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「職員」メニューを選択します。

左側の検索条件(①)を指定し(省略可)、[検索]ボタン(②)を押すと、右側に職員データの一覧が表示されます。データ件数が多くて複数ページに渡るときは、ページ番号(⑥)でページを移動することができます。

職員情報を新規登録する場合は、[新規登録]ボタン(③)を押します。下の画面が表示されます。職員情報を更新する場合は、一覧から一行選択し、[編集]ボタン(④)を押します。削除する場合は、一覧から1行選択し、[削除]ボタン(⑤)を押します。

■職員情報の検索

職員コード:

職員氏名:

科名:

病種名:

検索 ヘルプ

新規登録

※手術外看護師・・・手術室以外の看護師(病種・外来など)

職員コード	職員氏名	科名	病種名	手術外看護師	手術室看護師	主治医	術者助手
0001	中尾	外科					
0002	今福	皮膚科					
0003	伊藤	麻酔科					
0004	佐々木	麻酔科					
0005	佐藤	麻酔科					
0006	加藤	麻酔科					
0007	北村	麻酔科					
0008	古賀	脳外科					
0009	堀部	外科					
0010	大島	麻酔科					
0011	宇根	眼科					
0012	宮崎	泌尿器科					
0013	小川	産婦人科					
0014	岡崎	外科					
0015	岩戸	内科					
0016	岩浪	外科					
0017	川島	麻酔科					
0018	川本	麻酔科					
0019	森川	麻酔科					
0020	森河	麻酔科					

ページが表示されました

6.1.1(2) 上記の画面で「新規登録」または「編集」ボタンを押すと、以下の画面を表示します。

ここで必要事項を入力します。(*)の付いた項目は必須入力です。

入力が完了したら、「登録」ボタンを押します。

職員には、ここで登録した職種フラグに応じた本システムの利用権限が自動的に設定されます。

以下に、登録項目を説明します。

No	項目	説明
1	職員コード	職員コードを半角で入力します。最大で10桁まで入力できます。 ※このコードは、ログイン時のユーザ ID に使用します。 更新時は、編集できません。
2	職員氏名	職員氏名を入力します。最大で 40 文字(80 バイト)まで入力できます。
3	パスワード	パスワードを入力するには、「設定」ボタンを押します。 パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「設定」ボタンを押します。「パスワードの設定」画面が閉じます。 パスワードが入力済になると、パスワードの欄に[●●●●●●●●]と表示されます。
4	科名	職員の所属科を選択します。
5	病棟名	職員の所属病棟を選択します。
6	職種フラグ (複数選択可)	職種フラグは、ログイン後に使用できる機能と、手術管理や麻酔台帳で登録できる職員を制御します。 ■手術室以外の看護師(病棟・外来など) この職種にチェックすると手術の進捗が閲覧できます。 また、手術管理や麻酔台帳画面で直接看護師、間接看護師として登録する事ができます。 ■手術室看護師 この職種にチェックすると手術室の振分、進捗記録、進捗閲覧が行なえます。 また、手術管理や麻酔台帳画面で直接看護師、間接看護師として登録する事ができます。 ■主治医 この職種にチェックすると手術室の予約、手術記録/麻酔台帳登録、進捗閲覧が行なえます。 また、手術管理や麻酔台帳画面で主治医として登録する事ができます。 ■術者・助手 この職種にチェックすると手術室の予約、手術記録/麻酔台帳登録、進捗閲覧が行なえます。

		<p>す。また、手術管理や麻酔台帳画面で術者・助手として登録する事ができます。</p> <p>■麻酔科医 この職種にチェックすると予定麻酔法の登録、進捗閲覧、手術記録/麻酔台帳登録が行なえます。また、手術管理や麻酔台帳画面で麻酔科医として登録する事ができます。</p> <p>■麻酔指導医 この職種にチェックすると予定麻酔法の登録、進捗閲覧、手術記録/麻酔台帳登録が行なえます。また、手術管理や麻酔台帳画面で麻酔指導医として登録する事ができます。</p>
7	データ利用開始日	<p>データの利用開始日を選択します。</p> <p>データ利用開始日～終了日に現在の日付が含まれていないと、手術管理、麻酔台帳で登録する事ができません。</p>
8	データ利用終了日	<p>データの利用終了日を選択します。</p> <p>データ利用開始日～終了日に現在の日付が含まれていないと、手術管理、麻酔台帳で登録する事ができません。</p> <p>※職員が退職した場合には、データを削除するのではなく、退職日などを本項目に登録してください。</p>

6.2 その他の利用権限の設定（システム管理者・全データ閲覧者など）

「マスタメンテナンス」の「職員」画面の職種フラグには無い権限（システム管理者、全データ閲覧者など）を追加で設定したい場合に、この操作を行います。

6.2.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「職員ロール」メニューをクリックします。

左側の検索条件①を指定し(省略可)、[検索] ボタン②を押します。

右側に職員の一覧が表示されます。

権限追加対象する職員の「選択」ボタン③をクリックします。

6.2.1(2) 職員/ロールの設定画面が表示されます。

[全データ閲覧者]、[システム管理者]などの追加対象のロールにチェックを入れ、[登録] ボタンを押します。

※手術室以外の看護師(病棟・外来など)、手術室看護師、診療科医師、術者・助手、麻酔科医、麻酔指導医は、職員マスタメンテでチェックした職種フラグと同一のものがチェックされています。これらのチェックを外すと、職員マスタメンテの職種フラグのチェックも外れます。

StaffRoleInsert - Microsoft Internet Explorer

■ 職員/ロールの設定

職員コード(*) 0008

職員氏名(*) 麻酔科A太郎

ロール

- ☐ 手術室以外の看護師(病棟・外来など)
- ☐ 手術室看護師
- ☐ 診療科医師
- ☐ 術者・助手
- ☒ 麻酔医
- ☒ 麻酔指導医
- ☐ 全データ閲覧者
- ☒ システム管理者

登録 閉じる ヘルプ

6.3 ロールへのシステム機能の設定

本システムでは、ユーザが利用可能な機能は、ロール（役割）を介して設定します。ロールには個々のシステム機能が設定されています。

病院の運用によって、ロールの追加や、ロールに設定している機能を変更できるようになっています。ここでは、ロールの登録方法を説明します。

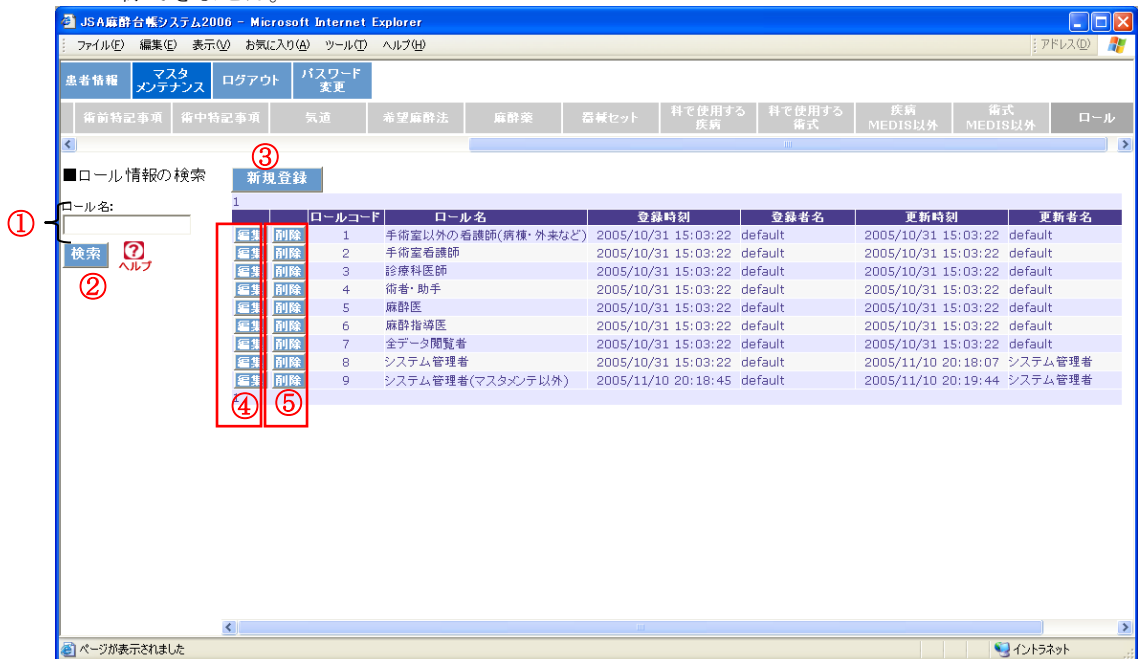
6.3.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「ロール」メニューを選択します。

左側の検索条件(①)を指定し(省略可)、[検索]ボタン(②)を押すと、右側にロールの一覧が表示されます。

ロールを新規登録する場合は、[新規登録]ボタン(③)を押します。下の画面が表示されます。

職員情報を更新する場合は、一覧から一行選択し、[編集]ボタン(④)を押します。削除する場合は、一覧から1行選択し、[削除]ボタン(⑤)を押します。

※ロールコードが1から20までのデータは、システムで予め設定されているロールであるため削除できません。



6.3.1(2) ロール情報の登録画面が表示されます。

ロール名を入力します。機能リストから、ロールに割当てする機能にチェックを入れます。
入力が完了したら、[登録] ボタンを押します。

登録したロールを「マスタメンテナンス」の「職員ロール」画面にて、職員に付与すると、その職員がログイン後に、この画面でチェックを入れた機能を使用できるようになります。

■ロール情報の登録

ロールコード 267

ロール名(*)

機能 下記リストから選択して下さい

登録 閉じる ヘルプ

■機能リスト

機能コード	機能名	
10	データ移行	
11	1: ファイル指定	<input type="checkbox"/>
12	2: マスタ移行	<input type="checkbox"/>
13	3: 台帳移行	<input type="checkbox"/>
20	手術管理	
21	予約	<input type="checkbox"/>
22	振分	<input type="checkbox"/>
23	麻酔法登録	<input type="checkbox"/>
24	予定表閲覧	<input type="checkbox"/>
25	進捗記録	<input type="checkbox"/>
26	進捗閲覧	<input type="checkbox"/>
30	自動麻酔記録装置IF	
31	環境設定	<input type="checkbox"/>
32	データ登録	<input type="checkbox"/>
33	ログ参照	<input type="checkbox"/>
40	麻酔台帳	
41	患者検索	<input type="checkbox"/>
42	登録	<input type="checkbox"/>
43	麻酔台帳削除	<input type="checkbox"/>
44	学会提供の停止チェック	<input type="checkbox"/>
50	学会提出	
51	作成	<input type="checkbox"/>

6.4 システム機能とロールの初期設定状態

本システムのインストール時には、下表の通り、システム機能とロールが初期設定されています。病院の運用によって、「6.3 ロールへのシステム機能の設定」の手順で、下表の設定を変更することができます。

○は利用可能な機能を表します。

	機能名(メニュー名)	初期設定されている_ロール							
		手術室以外 の看護師(病 棟・外来など)	手術室 看護師	診療科 医師	術者・ 助手	麻酔 科医 (*1)	麻酔 指導医 (*2)	全データ 閲覧者	システム 管理者
1	データ移行								
1.1	1.ファイル指定								○
1.2	2.マスタ移行								○
1.3	3.台帳移行								○
1.4	移行データ削除								○
1.5	試用データ削除								○
2	手術管理								
2.1	予約			○	○				○
2.2	振分		○						○
2.3	麻酔法登録					○	○		○
2.4	予定表作成		○	○	○	○	○	○	○
2.5	進捗登録		○						○
2.6	進捗閲覧	○	○	○	○	○	○	○	○
3	自動麻酔記録装置 IF								
3.1	環境設定								○
3.2	データ登録								○
3.3	ログ参照								○
4	手術台帳／麻酔台帳								
4.1	登録		○		○	○	○		○
4.2	*匿名化情報であっても提 供の停止請求あり								○
4.3	削除								○
4.4	印刷		○		○	○	○	○	○
4.5	入力用テンプレート設定		○		○	○	○		○
4.6	重複チェック						○		○
5	学会提出								
5.1	作成								○
6	臨床実績報告書								
6.1	作成					○	○		○
7	検索								
7.1	汎用検索				○	○	○	○	○
7.2	CSV 出力							○	○
7.3	個人集計						○	○	○
7.4	病院集計				○	○	○	○	○
7.5	偶発症一覧						○	○	○
8	患者情報								
8.1	登録								○
9	マスタメンテナンス (マスタメンテナンス以下全 て)								○
10	汎用的データ移行								○
11	システム拡張								
11.1	施設独自項目設定								○
11.2	他システム起動設定								○
12	他システム起動	○	○	○	○	○	○	○	○
13	パスワード変更(自分自身 の)	○	○	○	○	○	○	○	○
14	ログアウト	○	○	○	○	○	○	○	○

(*1) 「麻酔科医」は、研修医、ローテータ等も含む、麻酔に係わる全ての人を意味します。

(*2) 「麻酔指導医」は、認定医、専門医、および指導医を意味します。

※注意) 「麻酔科医」は、偶発症の一覧、麻酔実績の個人集計のデータを参照することができません。

7 パスワードを忘れてしまったとの問合せがあったら

パスワードを忘れてログインできないとの問合せがユーザからあった場合には、以下の手順にて新しいパスワードを設定してください。

7.1.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「職員」メニューを選択します。

7.1.1(2) 画面左側の検索条件を指定し(省略可)、[検索]ボタン を押すと、右側に職員データの一覧が表示されます。データ件数が多くて複数ページに渡るときは、ページ番号でページを移動する事ができます。

当該の職員の[更新]ボタンを押します。

7.1.1(3) 「職員情報の更新」画面が表示されます。

[パスワード]欄の右横の[設定]ボタンを押します。

7.1.1(4) 「パスワードの設定」画面が表示されます。

ここで、新しいパスワードを入力し、[設定]ボタンを押します。

7.1.1(5) 「職員情報の更新」画面に戻りますので、[登録]ボタンを推します。

以上で、パスワードが再設定されました。その後、新しく設定したパスワードをユーザに連絡します。



参照 操作方法の詳細は、「6. システム利用ユーザを登録するには」を参照ください。

8 施設独自項目機能の設定方法

ここでは、日本麻酔科学会が用意した項目以外に、施設独自で設定した項目を台帳に登録する方法を説

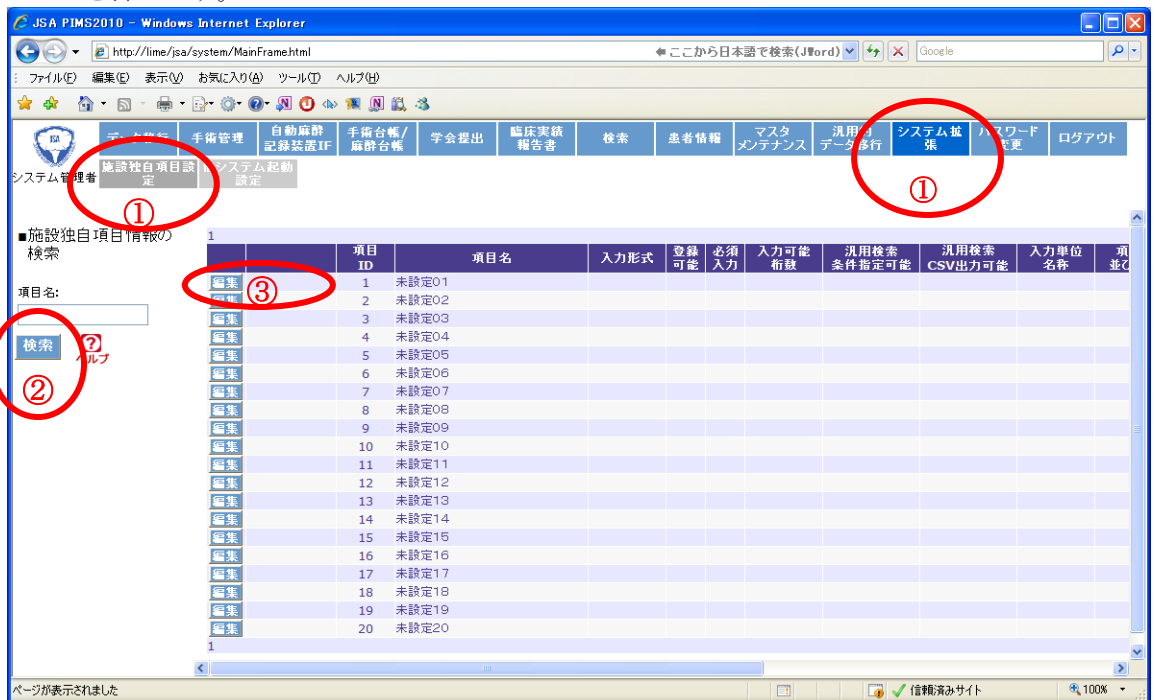
明します。ここでは設定の基本的な使用方法を説明します。画面操作の詳細については、各画面のヘルプを押して表示されるヘルプをご参照ください。



8.1 施設独自項目の設定

施設独自項目は下記手順で設定します。最大 20 個の施設独自項目を設定することが可能です。

8.1.1(1) メニューから①[システム拡張]-②[施設独自項目設定]を選択、③[検索]を押し、④[編集]を押します。



8.1.1(2) 下記の画面が表示されます。例として下記の入力をし「登録」を押します。

8.1.1(3) (2)で登録した内容が反映されていることが確認できます。「登録可能」欄に○が表示されている項目が、台帳画面で登録できる項目です。

項目ID	項目名	入力形式	登録可能	必須入力	入力可能桁数	汎用検索条件指定可能	汎用検索 CSV出力可能	入力単位名称	並び順
1	独自項目1	テキスト	○	入力	50	○	○		1
3	未設定03								
4	未設定04								
5	未設定05								
6	未設定06								
7	未設定07								
8	未設定08								
9	未設定09								
10	未設定10								
11	未設定11								
12	未設定12								
13	未設定13								
14	未設定14								
15	未設定15								
16	未設定16								
17	未設定17								
18	未設定18								
19	未設定19								
20	未設定20								

8.2 施設独自項目の台帳登録

8.2.1(1) 手術台帳/麻酔台帳画面の「施設独自項目」ボタンを押すと、8.1 で設定した施設独自項目が登録可能になっていることが確認できます。

9 他システム起動機能の設定方法

ここでは、本システムより他システムを起動するための設定方法を説明します。ここで起動可能な他システムはWEBブラウザによりhttpで呼出可能なシステムに限ります。



注意 他システムを起動する際は、本システムのユーザIDを、他システムへのログインIDとして、引き渡します。（パスワードは引き渡しません）。このため、呼び出された他システム側は引き渡されたログインIDにて認証をシアクセスコントロールが行われる必要があります。



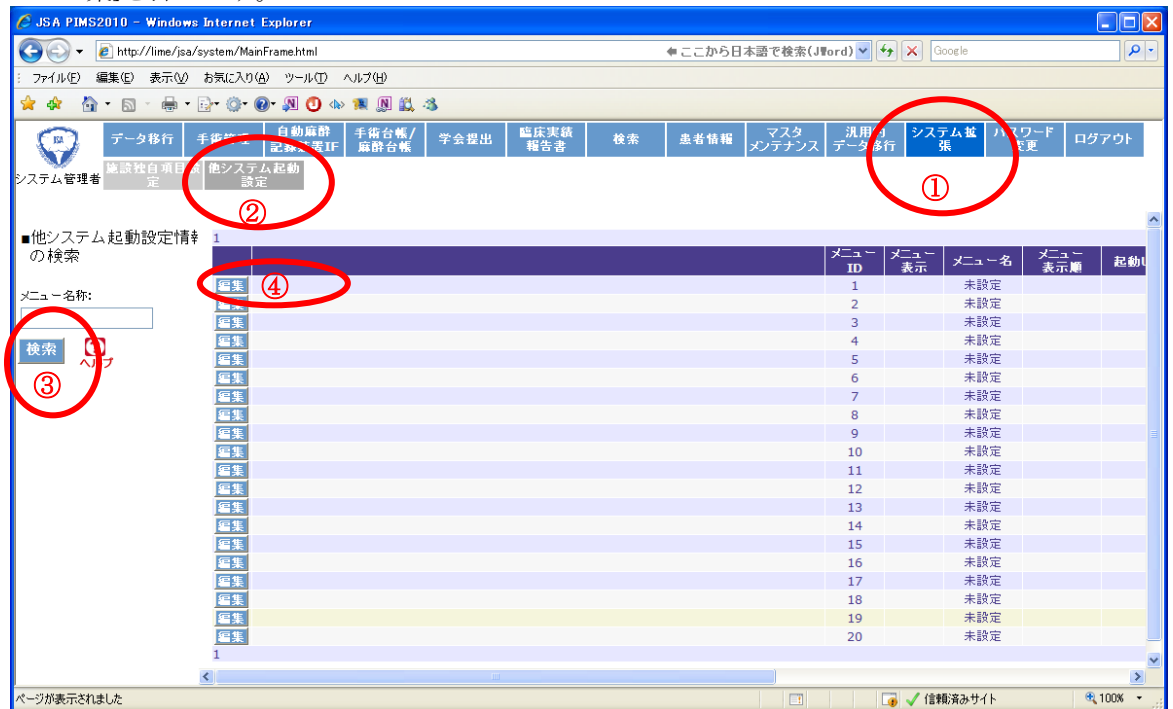
ここでは設定の基本的な使用方法を説明します。画面操作の詳細については、各画面のヘルプを表示されるヘルプをご参照ください。

9.1 他システム起動の設定

他システム起動の設定下記手順で設定します。最大20個の他システムの起動設定をすることが可能です。

9.1.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合

9.1.1(1) メニューから①[システム拡張]-②[他システム起動設定]を選択、③[検索]を押し、④[編集]を押します。



- 9.1.1(2) 下記の画面が表示されます。例として下記の入力をし「登録」を押します。ここでは、「患者 ID パラメータ付加」は「いいえ」のままとします。

http://lime/?hdMode=UPD&hdBCd=1&name= - ■他シ...

■他システム起動設定項目の編集

メニューID	1
メニュー表示	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
メニュー名(*)	AAAシステム
メニュー表示順	1
起動URL(*)	http://test/aaa.html
起動時Window名	aaa

ログインIDパラメータ

パラメータ付加	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
パラメータ名	login_id
固定値	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
固定値の場合の値	

患者IDパラメータ

パラメータ付加	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
パラメータ名	

その他パラメータ

備考	
----	--

登録 閉じる ヘルプ

9.1.1(3) (2)で登録した内容が反映されていることが確認できます。「メニュー表示」欄に○が表示されている項目が、起動できる他システムを表します。

■他システム起動設定情報の検索

メニュー名称:

検索 ヘルプ

	メニューID	メニュー名	メニュー名	メニューID	起動URL	登録日
編集	1	○	AAAシステム	1	http://test/aaa.html	2010/11/15
編集	2		未設定			2010/11/15
編集	3		未設定			2010/11/15
編集	4		未設定			2010/11/15
編集	5		未設定			2010/11/15
編集	6		未設定			2010/11/15
編集	7		未設定			2010/11/15
編集	8		未設定			2010/11/15
編集	9		未設定			2010/11/15
編集	10		未設定			2010/11/15
編集	11		未設定			2010/11/15
編集	12		未設定			2010/11/15
編集	13		未設定			2010/11/15
編集	14		未設定			2010/11/15
編集	15		未設定			2010/11/15
編集	16		未設定			2010/11/15
編集	17		未設定			2010/11/15
編集	18		未設定			2010/11/15
編集	19		未設定			2010/11/15
編集	20		未設定			2010/11/15

ページが表示されました

信頼済みサイト 100%

9.1.2 患者 ID を他システムに引き渡す場合

9.1.2(1) メニューから①[システム拡張]-②[他システム起動設定]を選択、③[検索]を押し、④[編集]を押します。

■他システム起動設定情報の検索

メニュー名称:

③ 検索

メニューID	メニュー表示	メニュー名	メニュー表示順	起動URL	登録日
1	○	AAAシステム	1	http://test/aaa.html	2010/11/15 2
2	○	未設定			2010/11/15 2
3	○	未設定			2010/11/15 2
4	○	未設定			2010/11/15 2
5	○	未設定			2010/11/15 2
6	○	未設定			2010/11/15 2
7	○	未設定			2010/11/15 2
8	○	未設定			2010/11/15 2
9	○	未設定			2010/11/15 2
10	○	未設定			2010/11/15 2
11	○	未設定			2010/11/15 2
12	○	未設定			2010/11/15 2
13	○	未設定			2010/11/15 2
14	○	未設定			2010/11/15 2
15	○	未設定			2010/11/15 2
16	○	未設定			2010/11/15 2
17	○	未設定			2010/11/15 2
18	○	未設定			2010/11/15 2
19	○	未設定			2010/11/15 2
20	○	未設定			2010/11/15 2

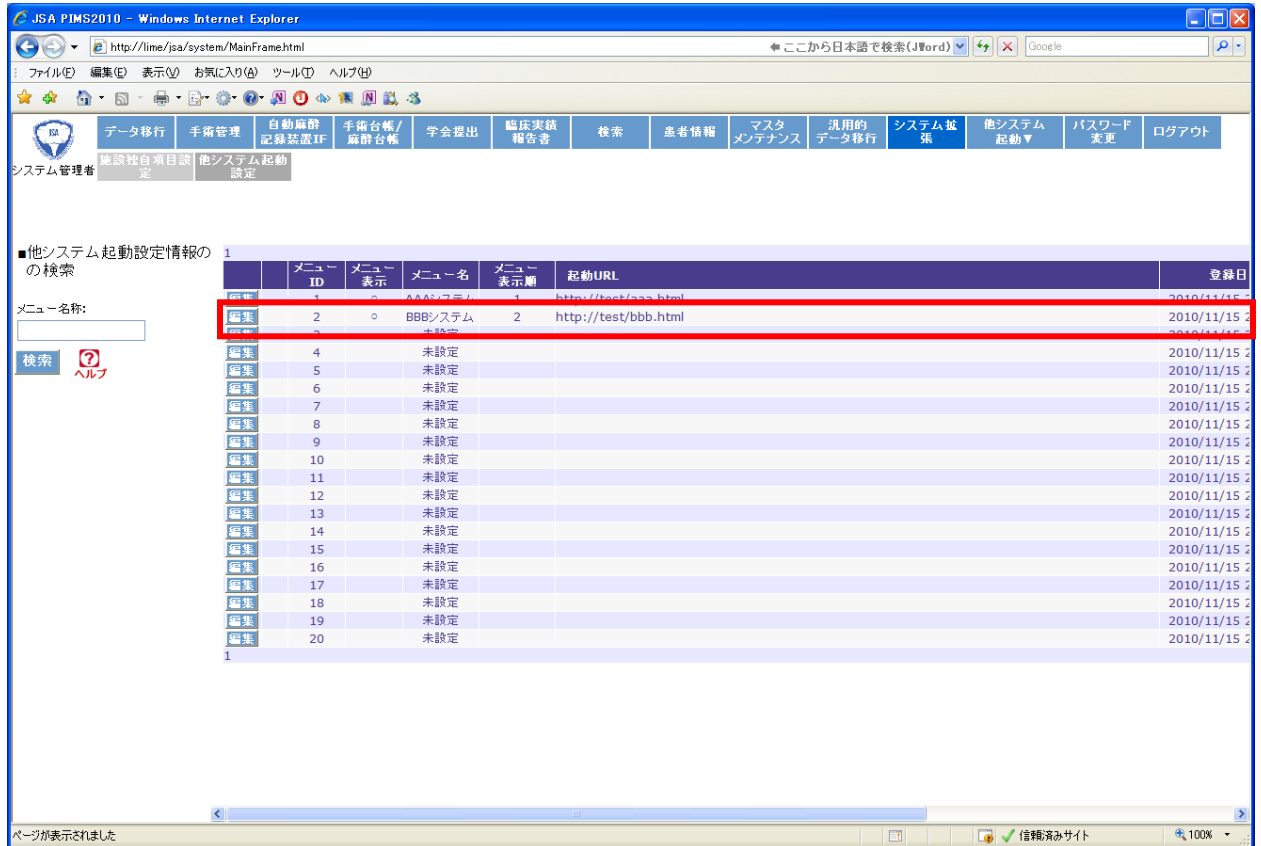
ページが表示されました

9.1.2(1) 下記の画面が表示されます。例として下記の入力をし「登録」を押します。ここでは、「患者 ID パラメータ付加」は「はい」を指定します。

■他システム起動設定項目の編集

メニューID	2
メニュー表示	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
メニュー名(*)	BBBシステム
メニュー表示順	2
起動URL(*)	http://test/bbb.html
起動時Window名	bbb
ログインIDパラメータ	
パラメータ付加	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
パラメータ名	login
固定値	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
固定値の場合の値	
患者IDパラメータ	
パラメータ付加	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
パラメータ名	patient_no
その他パラメータ	
備考	
<input checked="" type="button" value="登録"/> <input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="ヘルプ"/>	

9.1.2(2) (2)で登録した内容が反映されていることが確認できます。「メニュー表示」欄に○が表示されている項目が、起動できる他システムを表します。

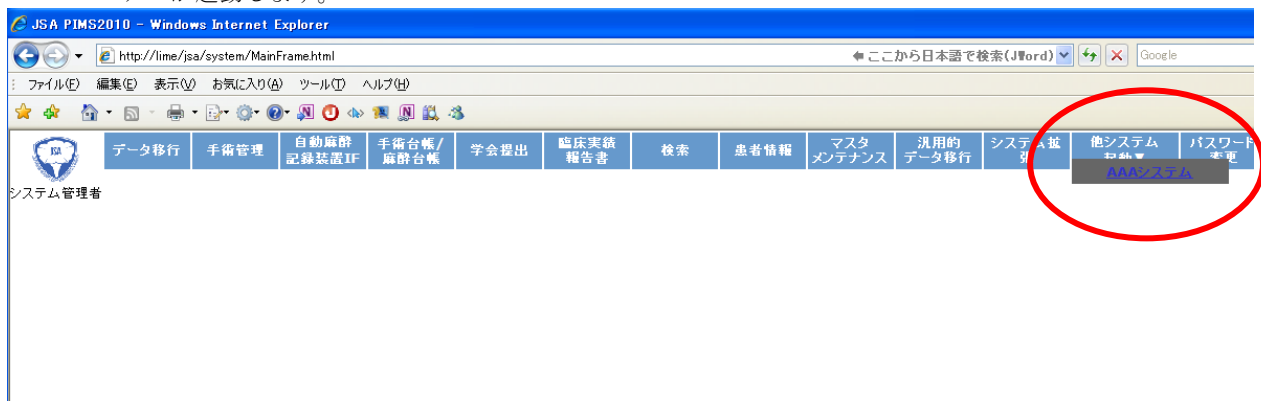


9.2 他システム起動方法

9.1 で設定した他システム起動の設定内容を反映するには、一度ログアウトして、再度ログインする必要があります。

9.2.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合

画面上段の[他システム起動]メニューをクリックし、表示されるシステム名をクリックすると、他システムが起動します。



9.2.1 患者 ID を他システムに引き渡す場合

手術台帳・麻酔台帳の登録画面で、患者データを開いた状態の画面の左側にある[他システム起動]メニューをクリックし、表示されるシステム名をクリックすると、他システムが起動します。

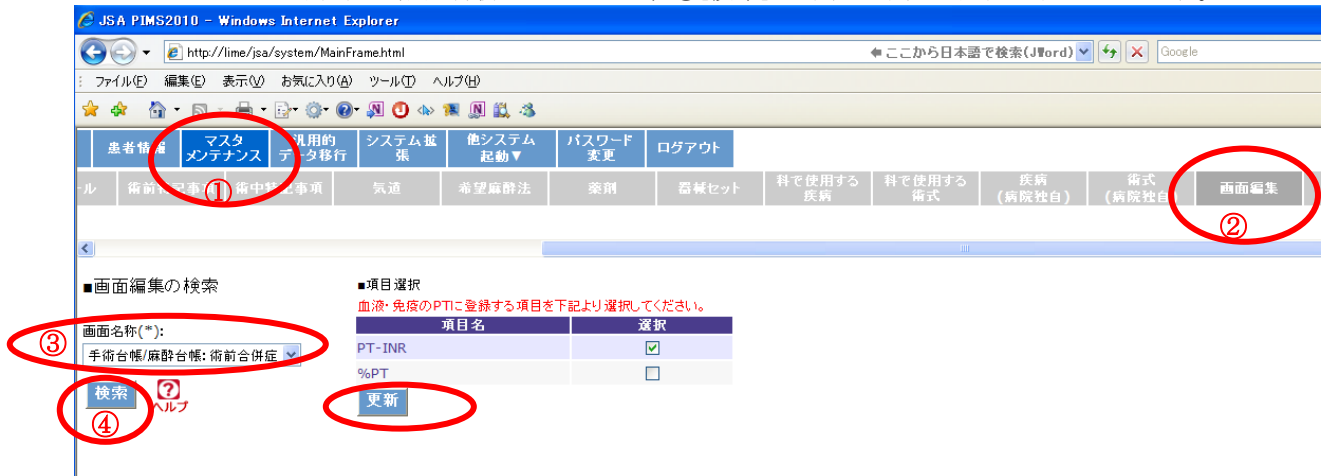
The screenshot displays the JSA PIMS2010 web application in a Windows Internet Explorer browser. The left sidebar contains a menu with '他システム起動' (Start Other System) highlighted with a red circle. The main area shows the '手術台帳/麻酔台帳' (Surgery/Anesthesia Log) registration form. The form includes fields for patient ID, name, gender, age, and various medical data points like ASA PS, surgery site, and anesthesia method. The '偶発症例' (Complication Case) section is active, showing '偶発症例あり(確定)' (Complication Case confirmed). The form also includes buttons for '確定' (Confirm), '一時保存' (Save Temporarily), '削除' (Delete), and '戻る' (Back).

10 手術台帳/麻酔台帳の術前合併症の PT 登録値の設定方法

ここでは、手術台帳/麻酔台帳画面の術前合併症の登録項目“血液・免疫”の”PT”の登録値の設定方法を説明します。

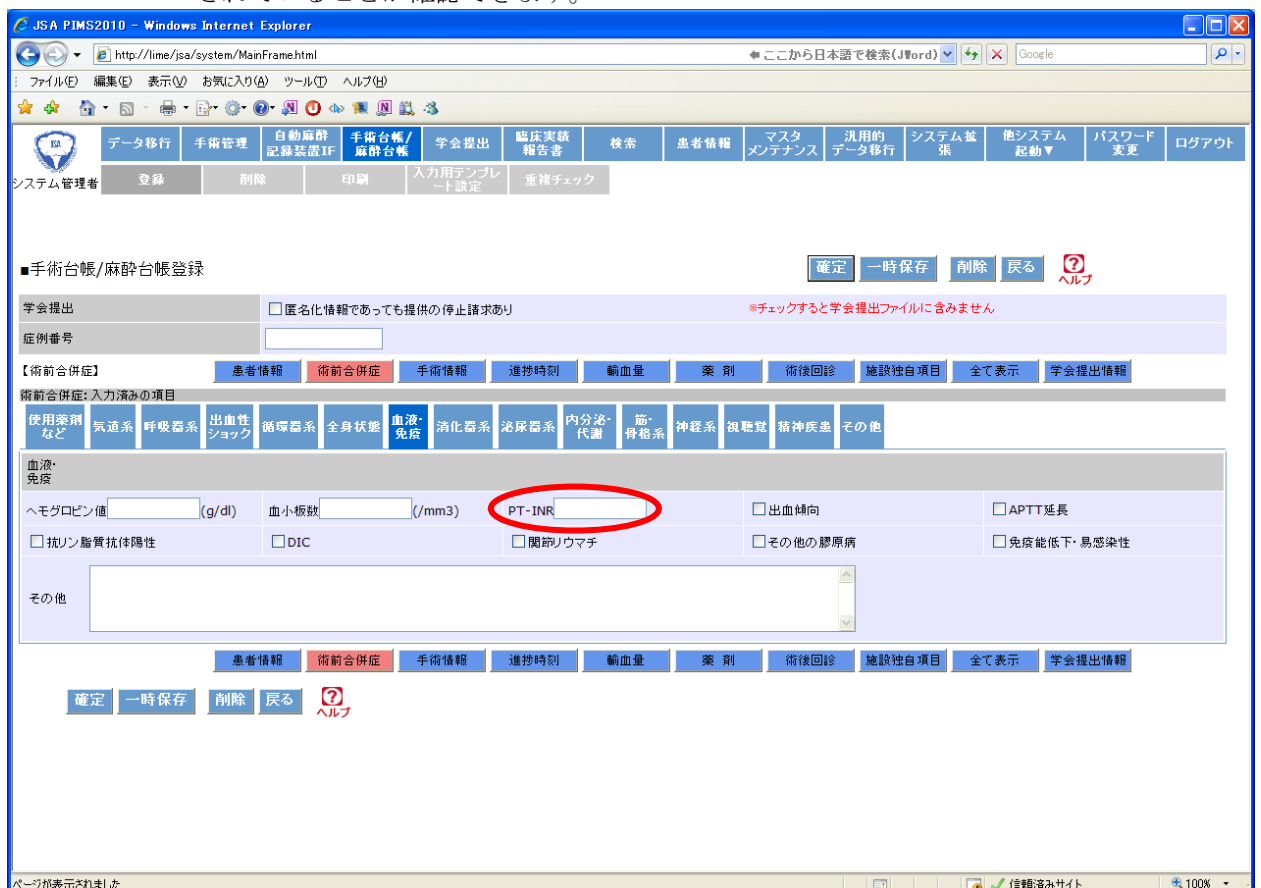
術前合併症の登録項目“血液・免疫”の”PT”は、登録値が PT-INR と%PT の 2 通りが想定されます。施設毎に PT-INR と%PT のどちら値を登録するかを、ここで設定します。

10.1.1(1) メニューから①[マスタメンテナンス]-②[画面編集]を選択、③[画面名称]に”手術台帳/麻酔台帳：術前合併症”を選択し、④[検索]を押すと下記の画面が表示されます。



ここで、PT-INR と%PT のいずれかにチェックを入れ、[更新]を押します。

10.1.1(2) 手術台帳/麻酔台帳画面の[術前合併症]-[血液・免疫]を確認すると、PT の登録値が反映されていることが確認できます。

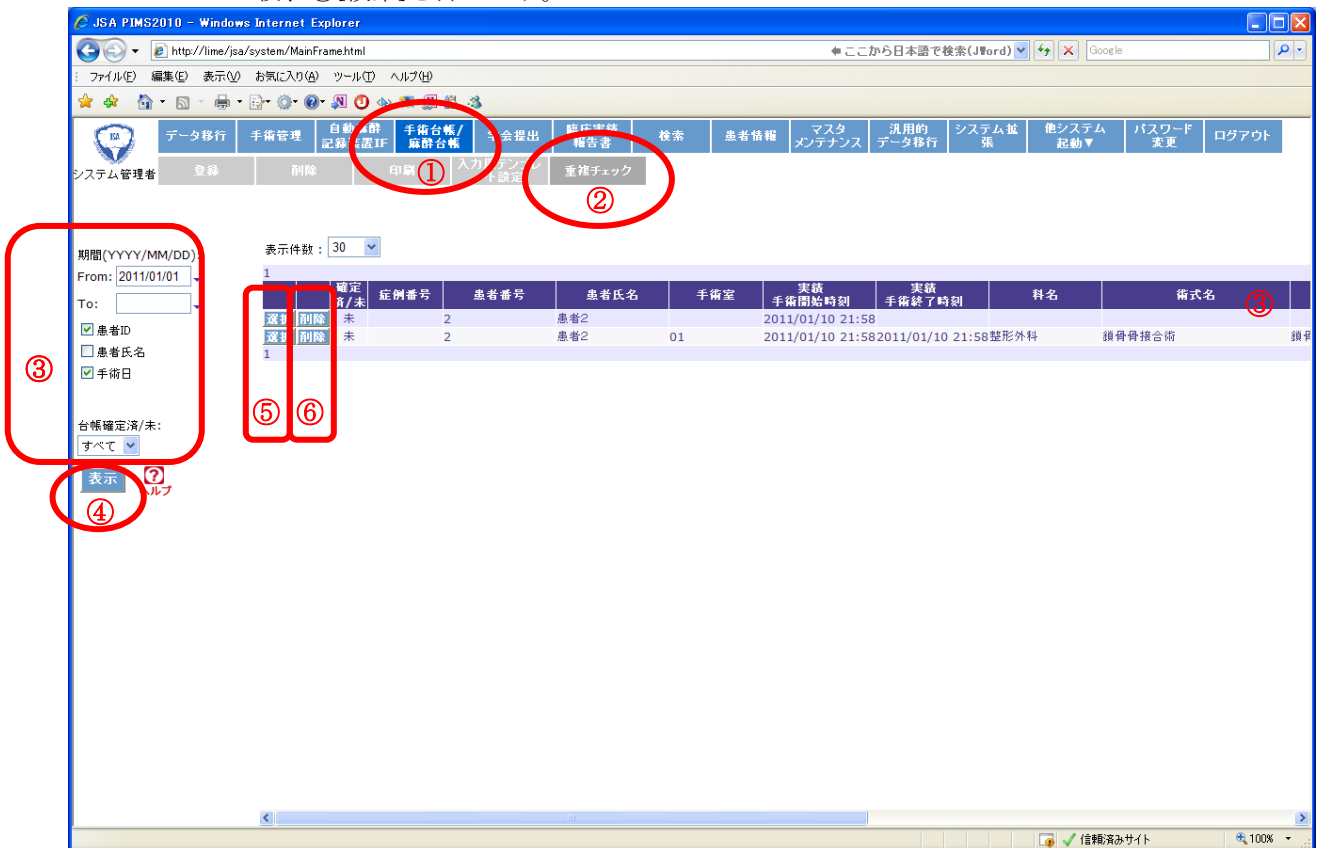


11 手術台帳/麻酔台帳の重複登録の可能性があるデータのチェック方法

手術台帳/麻酔台帳に重複登録されている可能性がある症例を検索し一覧で表示します。その後、症例データの詳細の確認、及び削除することが可能です。

ここでは設定の基本的な使用方法を説明します。画面操作の詳細については、各画面のヘルプを押して表示されるヘルプをご参照ください。

11.1.1(1) メニューから①[手術台帳/麻酔台帳]-②[重複チェック]を選択、③検索条件を入力した後、④[検索]を押します。



すると条件に一致した重複登録の可能性がある症例が一覧表示されます。

- ・⑤[選択]を押すと、該当の詳細データが表示され、確認ができます。
- ・⑥[削除]を押すと、該当のデータを削除します（論理削除されます）。

12 マスタ情報の管理について

ここでは、マスタ情報の管理について説明します。

マスタ情報は、本システムを運用する上で必要不可欠な重要な情報です。

日頃からデータの管理を行ない、余分なデータや不足するデータがないようにしてください。

12.1 マスタ情報一覧

本システムでは、以下のマスタ情報を用意しています。

	マスタ	内容
1	病院	病院に関するマスタ情報を管理します。 ■病院名、住所 →臨床実績報告書に出力されます。 ■病床数、登録科名、病院の種類、病院の所在(地域) →学会提出用ファイルに出力されます。
2	科	診療科に関するマスタ情報を管理します。(科コード、科名)
3	病棟	病棟に関するマスタ情報を管理します。(病棟コード、病棟名)
4	手術室	手術室に関するマスタ情報を管理します。(手術室コード、手術室名)
5	職員	職員に関するマスタ情報を管理します。(職員コード、氏名、所属科、所属病棟、職種) ■本システムへのログインユーザ ID/パスワードは、ここで設定します。 ■職種は、職員毎に以下の中から該当する職種を設定します(複数可) ・手術室以外の看護師(病棟・外来など) ・手術室看護師 ・主治医 ・術者・助手 ・麻酔科医 ・麻酔科指導医 ※職種を設定すると、職員へのロールが自動的に付与され、役割に応じたシステムの利用が可能になります。
6	職員ロール	職員のロール(役割)に関するマスタ情報を管理します。 ここでは、主に「職員」マスタで設定される役割以外の[全データ閲覧者]や[システム管理者]の役割を職員に設定します。 ■職員のロールは、職員毎に以下の中から該当するロールを設定します(複数可) ・手術室以外の看護師(病棟・外来など) ・手術室看護師 ・診療科医師 ・術者・助手 ・麻酔医 ・麻酔指導医 ・全データ閲覧者 ・システム管理者
7	術前特記事項	術前特記事項に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じデータの追加・変更・削除が可能です。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で術前特記事項を登録するときに選択できます。
8	術中特記事項	術中特記事項に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じ、データの追加・変更・削除が可能です。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で術中特記事項を登録するときに選択できます。
9	気道	気道に関するマスタ情報を管理します。

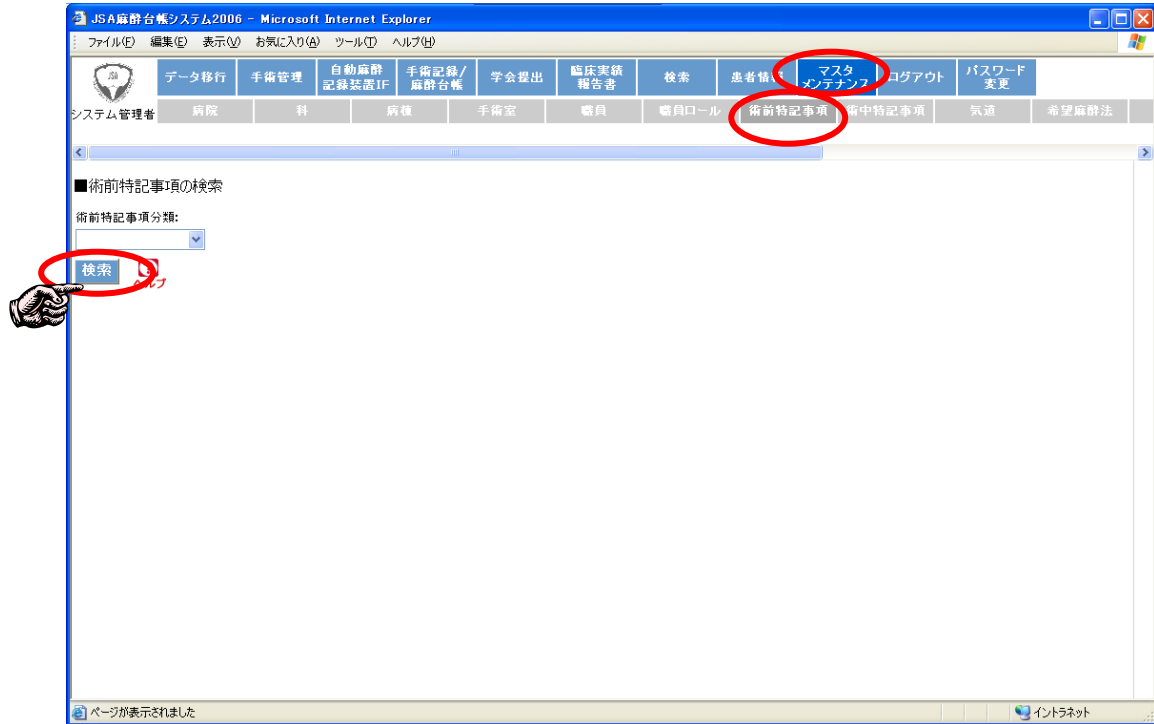
	マスタ	内容
		学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じ、データの追加・変更・削除が可能です。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で気道を登録するときに選択できます。
10	希望麻酔法	希望麻酔法に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で希望麻酔法を登録するときに選択できます。
11	麻酔薬	よく使う麻酔薬に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じ、データの追加・変更・削除が可能です。 但し、麻酔薬コードの先頭文字が 0 で始まる麻酔薬は、学会提供の固定データであるため、登録・変更・削除はできません。貴院で麻酔薬を追加する場合には、先頭文字が 0 以外の麻酔薬コードを登録してください。
12	器械セット	よく使う器械セットに関するマスタ情報を科毎に管理します。 ここで登録した器械セットは、手術管理・麻酔台帳機能で、器械セットを選択するときに表示されます。
13	科で使用する疾病	よくある疾病を科毎に登録します。MEDIS の標準病名マスターから、疾病を選択し登録できます。 ここで登録した疾病は、手術管理・麻酔台帳機能で、疾病を選択するときに表示されます。
14	科で使用する術式	よくある術式を科毎に登録します。 MEDIS の標準手術・処置マスターから、よくある術式を選択し登録できます。 ここで登録した術式は、手術管理・麻酔台帳機能で、術式を選択するときに表示されます。
15	疾病(病院独自)	MEDIS の標準病名マスターには存在しない疾病を登録します。ここで疾病を登録した後、さらに「13. 科で使用する疾病」で科毎に登録を行います。それにより手術管理・麻酔台帳機能で、疾病を選択するときに表示されます。
16	術式(病院独自)	MEDIS の標準手術・処置マスターには存在しない術式を登録します。ここで術式を登録した後、さらに「14. 科で使用する術式」で科毎に登録を行います。それにより手術管理・麻酔台帳機能で、術式を選択するときに表示されます。
17	ロール	本システムのロール(役割)に関するマスタ情報を管理します。 以下の学会提供データが予め登録されています。 <ul style="list-style-type: none"> ・1. 手術室以外の看護師(病棟・外来など) ・2. 手術室看護師 ・3. 診療科医師 ・4. 術者・助手 ・5. 麻酔医 ・6. 麻酔指導医 ・7. 全データ閲覧者 ・8. システム管理者 貴院の運用に応じ、データの追加が可能です。 データを追加すると、「職員ロール」のロール一覧にも追加表示され、ここで追加したロールを、職員に付与することができます。 ロールコード 1～20 は学会で予約したコードであるため削除はできません。 (ただし使用可能な機能を変更することはできません)

12.2 マスタ情報の管理（共通操作）

マスタ情報の管理は、本システムの「マスタメンテナンス」機能を使用して行います。画面の操作は概ね共通の操作で可能です。ここでは、その共通操作を説明します。

■ここでは、例として、「術前特記事項」を選択した場合の画面で説明します。

12.2.1(1) [マスタメンテナンス] | [術前特記事項]メニューを選択します。以下の画面が表示されます。検索条件を設定し[検索]を押します。（検索条件を設定しない場合、全てのデータが検索されます）



12.2.1(2) 右側に検索結果の一覧が表示されます。

■新規登録
データを新規登録するときに押します。

■項目名の部分
並び順の変更するときに項目名を部分をクリックします。

■編集、削除
データを編集、または削除するときに押します。

■ページ番号
ページを移動するときに押します。

分類ID	分類名	特記事項コード	特記事項名	備考
a	呼吸器系	01	%VC低下	
a	呼吸器系	12	塵肺症	
a	呼吸器系	07	H-J分類 2度以上	H-J>=2
a	呼吸器系	06	喫煙	SMOKER>=20
a	呼吸器系	15	挿管困難	
a	呼吸器系	04	肺気腫	
a	呼吸器系	14	いびき、睡眠時無呼吸	
a	呼吸器系	05	慢性気管支炎	
a	呼吸器系	10	陣发性結核	
a	呼吸器系	11	肺手術後	
a	呼吸器系	13	慢性呼吸不全	
a	呼吸器系	08	喘息	
a	呼吸器系	02	一秒率低下	
a	呼吸器系	03	上気道炎、感冒様症状	
a	呼吸器系	09	気道閉塞、気管内異物	
b	循環器系	08	NYHA分類 2度以上	NYHA>=2
b	循環器系	09	ペースメーカー	
b	循環器系	07	心電図異常	
b	循環器系	12	心筋症	
b	循環器系	05	高血圧	

- 1 ページ当りのデータ表示件数は 20 件です。データが 20 件を超える場合には複数のページになります。次ページに移動するには移動先のページ番号をクリックします。
- データの新規登録時は[新規登録]ボタン、データの編集、削除時は、各データ毎のそれぞれ[編集]、[削除]ボタンを押します。
- データの並び順を変更したい場合は、一覧のタイトル行をクリックします。クリックした項目で昇順に並び変えます。

12.2.1(3) 新規登録時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し[登録]ボタンを押します。

■ 術前特記事項の新規登録

分類(*)

術前特記事項コード(*)

術前特記事項名(*)

備考

ページが表示されました

12.2.1(4) リストの内容を編集する場合は、[編集]ボタンを押します。([編集]ボタンのない画面もあります。右側にリストの一覧が表示されます。

- リストにデータを新規追加するには
→1行目に入力欄を入力し[登録]ボタンを押します。
- リストのデータを変更するには
→[編集]ボタンを押すと、編集可能な項目が編集が可能になりますので、データを編集し[更新]ボタンを押します。[キャンセル]ボタンを押すと編集内容を取消します。
- リストのデータを削除するには
→[削除]ボタンを押すと、「削除してもよろしいですか」とアラートが表示されます。ここで、「OK」を押すとデータが削除されます。



12.2.1(5) 更新時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し、[登録]ボタンを押します。



12.2.1(6) 削除時：以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押します。



■注意

本システムでは、全てのマスタデータはコードを基に管理しています。このため、同じコードに対し、違う意味を持たせるような、名称の変更は行わないでください。

例えば、科マスターで外科を消化器外科と脳神経外科に分けるような変更時には、

科コード=01	科名=外科
↓↓↓	
科コード=02	科名=消化器外科
科コード=03	科名=脳神経外科

のように、外科の科コード=01 は使わずに、02, 03 のように新しい科コードを追加してください。

13 患者情報の管理について

ここでは、患者情報の管理方法について説明します。

13.1.1(1) [患者情報] | [登録]メニューを選択します。

13.1.1(2) 左側の検索条件を入力して、検索ボタンを押します。

13.1.1(3) 右側に検索結果の一覧が表示されます。

- ・ 1 ページ当りのデータ表示件数は 20 件です。データが 20 件を超える場合には複数のページになります。違うページに移動するには移動先のページ番号をクリックします。
- ・ 患者情報の新規登録時には[新規登録]ボタン、編集時、削除時は、それぞれ各行にある[編集]ボタン、[削除]ボタンを押します。
- ・ データの並び順を変更したい場合は、一覧のタイトル行をクリックします。クリックした項目について昇順に並び変わります。

■新規登録
患者を新規登録するときに押します。

■項目名の部分
並び順を変更するときに項目名を部分をクリックします。

■検索
最初に押します

■編集、削除
患者データを更新、または削除するときに押します。

■ページ番号
ページを移動するときに押します。

患者ID	患者氏名	患者氏名かな	生年月日	性別	血液型	血液型 Rh	血液型 確定
200000001	女性						200
200000002	男性						200
200000003	女性						200
200000004	女性						200
200000005	女性						200
200000006	女性		2005/05/06	女性			200
200000007	女性		2005/05/15	女性			200
200000008	男性			男性			200
200000009	男性			男性			200
200000010	男性			男性			200
200000011	男性			男性			200
200000012	女性			女性			200
200000013	女性			女性			200
200000014	女性			女性			200
200000015	女性			女性			200
200000016	女性			女性			200
200000017	女性			女性			200
200000018	女性			女性			200
200000019	女性			女性			200
200000020	女性			女性			200
200000021	女性			女性			200
200000022	女性			女性			200
200000023	女性			女性			200
200000024	女性			女性			200
200000025	女性			女性			200
200000026	女性			女性			200
200000027	女性			女性			200
200000028	女性			女性			200
200000029	女性			女性			200
200000030	女性			女性			200

13.1.1(4) 新規登録時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し[登録]ボタンを押します。

■患者情報の新規登録

患者ID(*)

患者氏名(*)

患者氏名かな

生年月日(YYYY/MM/DD)

性別

血液型

血液型Rh

血液型確定区分

☒ 確定 ☐ 未確定

登録 閉じる ヘルプ

13.1.1(5) 編集時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し、[登録]ボタンを押します。

■患者情報の更新

患者ID(*)	SYS0000717
患者氏名(*)	SYS0000717
患者氏名かな	
生年月日(YYYY/MM/DD)	
性別	女性
血液型	
血液型Rh	
血液型確定区分	<input checked="" type="radio"/> 確定 <input type="radio"/> 未確定

登録 閉じる ヘルプ



更新では、患者 ID の変更ができません。患者 ID を変更するには、患者データを一旦削除してから新規登録を行ってください。

13.1.1(6) 削除時：以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押します。



以上